

令和3年1月15日 第5回式典専門委員会決定事項



いちご一会とちぎ国体の概要

（1）大会名 第77回 国民体育大会

（2）大会愛称 いちご一会とちぎ国体

（3）スローガン 夢を感動へ。感動を未来へ。

（4）開催期間

令和4(2022)年10月1日(土)～11日(火)

（5）総開閉・閉会式の期日及び会場

総開閉会式：令和4(2022)年10月1日(土)
総閉会式：令和4(2022)年10月11日(火)
総開閉・閉会式会場：カンセキスタジアムとちぎ
(栃木県総合運動公園陸上競技場)

（6）実施競技 正式競技:37競技/特別競技:1競技/公開競技:5競技
/デモンストレーションスポーツ:31競技

（7）マスコットキャラクター



「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の推進を宣言しています。



式典の概要

（1）式典テーマ

夢を感動へ。感動を未来へ。

（2）式典の基本的な考え方

- 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典
- 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典
- 訪れる人々を心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

● オープニングプログラム

総開閉会式

- 基本的な考え方 ● 多彩な出演団体によって「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動と喜びを共有できるような内容とします。
● 出演者・観覧者が一体となって盛り上がり、「いちご一会とちぎ国体」の開幕を飾るにふさわしい内容とします。
- 内容構成 ● 栃木の文化・伝統芸能団体の活動や地域の特徴を生かした活動などの発表
● 県内で行われているスポーツイベントやニューススポーツの紹介 等

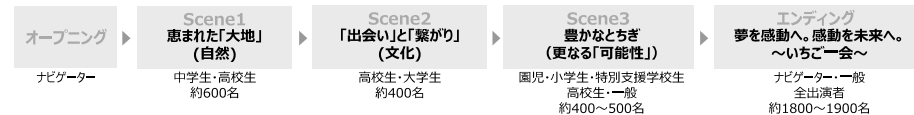
総閉会式

- 基本的な考え方 ● 繰り広げた熱戦を振り返り、選手たちの健闘と国体を支えたすべての方々への感謝の気持ちを伝える内容とします。
● 引き続き開催される「いちご一会とちぎ大会」への期待が高まるものとします。
- 内容構成 ● 国体のハイライト映像、本県ゆかりの出演者によるパフォーマンスや障害者スポーツデモンストレーション 等

● 式典演技（総開閉会式のみ）

タイトル 人＊むすぶ＊大地 人＊つくる＊未来 ～とちぎとの出会い いちご一会物語～

- 演技構想 ● ナビゲーターたちが、対話形式で栃木県の魅力である「バランスの取れた豊かさ」とその背景を紹介していくストーリー。
● 栃木の魅力や実力を発信し、夢・感動があふれる物語を展開します。
● 参加するすべての人びとが一体感を持ち、日本全国に“元気”と“希望”を届ける内容とします。



● エンディングプログラム（総開閉会式のみ）

- 基本的な考え方 ● これから始まる競技会場への期待感と応援ムードを高揚させる内容とします。
● 式典終了後、会場周辺の混雑を緩和させ、役員・選手団や観覧者などが円滑に退場できるよう配慮します。
- 内容構成 ● 本県ゆかりの出演者によるパフォーマンスやミススポーツ大会

● 式典音楽

栃木ゆかりの楽曲を取り入れ、全員で感動を共有することのできる式典音楽とします。

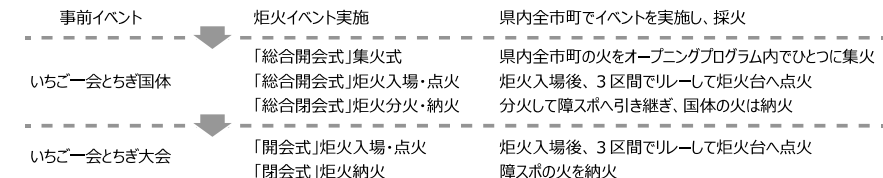
- 式典音楽使用楽曲 ● ファンファーレⅠ～Ⅴ ● 栃木ゆかりのポップスメドレーマーチ
● いちご一会マーチ ● 行進曲「ふるさと栃木」
● 栃木ゆかりの童謡メドレー ● 炬火曲Ⅰ・Ⅱ 等

音楽隊編成

区分	出演者	人数
吹奏楽隊	高等学校、栃木県警察音楽隊	150名程度
合唱隊	高等学校、大学・一般団体等	200名程度
合計		約350名

● 炬火計画

炬火イベントの実施イメージ



次第

総開閉会式

順	次第
	オープニングプログラム
	天皇皇后両陛下御着席
1	開式通告
2	役員・選手団入場開始
3	役員・選手団整列完了
4	開会宣言
5	国旗儀礼
6	大会旗・日本スポーツ協会旗儀礼
7	栃木県旗・宇都宮市旗儀礼
8	天皇杯・皇后杯返還
9	大会会長あいさつ
10	文部科学大臣あいさつ
11	天皇陛下おことば
12	炬火入場・点火
13	選手代表宣誓
14	閉式通告
	天皇皇后両陛下御退席
	エンディングプログラム

総閉会式

順	次第
	オープニングプログラム
	皇族御着席
1	開式通告
2	役員・選手団入場開始
3	役員・選手団整列完了
4	成績発表
5	表彰状授与
6	天皇杯・皇后杯授与
7	大会会長あいさつ
8	スポーツ庁長官あいさつ
9	栃木県旗・宇都宮市旗儀礼
10	大会旗・日本スポーツ協会旗儀礼
11	国旗儀礼
12	炬火分火・納火
13	国体旗引継
14	鹿児島県旗儀礼
15	閉会宣言
16	閉式通告
	皇族御退席

※総開閉会式では、天皇皇后両陛下御御席のもと式典演技を行います。

※次第・時刻については現時点の案であり、公益財団法人日本スポーツ協会との協議のうえ、正式決定します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分に対策いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況に応じて、内容に変更が生じる場合があります。

いちご一会とちぎ大会の概要

(1) 大会名 第22回 全国障害者スポーツ大会

(2) 大会愛称 いちご一会とちぎ大会

(3) スローガン 夢を感動へ。感動を未来へ。

(4) 開催期間

令和4(2022)年10月29日(土)～31日(月)

(5) 開・閉会式の
期日及び会場

開会式 : 令和4(2022)年10月29日(土)
閉会式 : 令和4(2022)年10月31日(月)
開・閉会式会場 : カンセキスタジアムとちぎ
(栃木県総合運動公園陸上競技場)

(6) 実施競技 正式競技: 14競技 / オープン競技: 3競技

(7) マスコットキャラクター



「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の推進を宣言しています。

式典の概要

(1) 式典テーマ

夢を感動へ。感動を未来へ。

(2) 式典の基本的な
考え方

- 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典
- 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典
- 訪れる人々を心のごもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

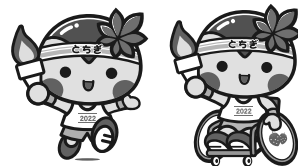
次第

開会式

順	次第
	オープニングプログラム
	皇族御着席
1	開式通告
2	役員・選手団入場開始
3	役員・選手団整列完了
4	開会宣言・大会会長あいさつ
5	国旗儀礼
6	大会旗・栃木県旗・宇都宮市旗儀礼
7	文部科学大臣あいさつ
8	皇族のおことば
9	炬火入場・点火
10	選手代表宣誓
11	歓迎演技開始
12	歓迎演技終了
13	閉式通告
	皇族御退席
	エンディングプログラム

閉会式

順	次第
	オープニングプログラム
	皇族御着席
1	開式通告
2	大会会長あいさつ
3	スポーツ庁長官あいさつ
4	皇族のおことば
5	大会旗・栃木県旗・宇都宮市旗儀礼
6	国旗儀礼
7	大会旗引継
8	炬火納火
9	閉会宣言
	ファイナルステージ
	皇族御退席



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分に対策いたします。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況に応じて、内容に変更が生じる場合があります。

● オープニングプログラム

開会式 基本的な考え方

- 多彩な出演団体によって「栃木の魅力」を発信し、全国の人々が感動と喜びを共有できるような内容とします。
- 出演者・観覧者が一体となって盛り上がり、「いちご一会とちぎ大会」の開幕を飾るにふさわしい内容とします。

内容構成

- 栃木の文化・伝統芸能団体の活動や地域の特徴を生かした活動などの発表
- 県内で行われているスポーツイベントやニュースポーツの紹介 等

閉会式 基本的な考え方

- 繰り広げた熱戦を振り返り、選手たちの健闘と大会を支えたすべての方々への感謝の気持ちを伝える内容とします。
- 大会の素晴らしい瞬間を振り返り、世代を超えて集う楽しさや心のふれあいが、未来へつなげる内容とします。

内容構成

- 大会を振り返る選手インタビュー、大会のハイライト映像

● 歓迎演技（開会式のみ）

タイトル

人*むすぶ*大地 人*つくる*未来 ～とちぎとの出会い いちご一会物語～

演技構想

- ナビゲーターたちが、対話形式で栃木県の魅力である「バランスの取れた豊かさ」とその背景を紹介していくストーリー。
- 栃木の魅力や実力を発信し、夢・感動があふれる物語を展開します。
- 参加するすべての人びとが一体感を持ち、日本全国に“元気”と“希望”を届ける内容とします。



オープニング	Scene1 恵まれた「大地」 (自然)	Scene2 「出会い」と「繋がり」 (文化)	Scene3 豊かなとちぎ (更なる「可能性」)	エンディング 夢を感動へ。感動を未来へ。 ～いちご一会～
ナビゲーター	中学生・高校生 約300名	高校生・大学生 約300名	小学生・特別支援学校生 高校生・一般 約400名	ナビゲーター・一般 全出演者 約1350名

● エンディングプログラム（開会式のみ）

基本的な考え方

- これから始まる競技会への期待感と応援ムードを高揚させる内容とします。
- 式典終了後、会場周辺の混雑を緩和させ、役員・選手団や観覧者などが円滑に退場できるように配慮します。

内容構成

- 本県ゆかりの出演者によりパフォーマンス、ミンスポーツ大会

● ファイナルステージ（閉会式のみ）

基本的な考え方

- 繰り広げられた熱戦を振り返り、選手たちの健闘と大会を支えたすべての方々への感謝の気持ちを伝える内容とします。
- 大会の素晴らしい瞬間を振り返り、世代を超えて集う楽しさや心のふれあいが、未来へとつなげる内容とします。

内容構成

- 本県ゆかりの出演者によるプログラム

● 式典音楽

栃木ゆかりの楽曲を取り入れ、全員で感動を共有することのできる式典音楽とします。

式典使用楽曲

- ファンファーレ I ～V
- いちご一会マーチ
- 栃木ゆかりの童謡メドレー
- 栃木ゆかりのポップスメドレーマーチ
- 行進曲「ふるさと栃木」
- 炬火曲 I・II 等

音楽隊編成

区分	出演者	人数
吹奏楽隊	高等学校、栃木県警察音楽隊	150名程度
合唱隊	高等学校、大学・一般団体等	200名程度
合計		約350名

● 炬火イベント計画

炬火イベントの実施イメージ

事前イベント	炬火イベント実施	県内全市町でイベントを実施し、採火
いちご一会とちぎ国体	「総開会式」集火式 「総開会式」炬火入場・点火 「総閉会式」炬火分火・納火	県内全市町の火をオープニングプログラム内でひとつに集火 炬火入場後、3区間でリレーして炬火台へ点火 分火して障スポへ引き継ぎ、国体の火は納火
いちご一会とちぎ大会	「開会式」炬火入場・点火 「閉会式」炬火納火	炬火入場後、3区間でリレーして炬火台へ点火 障スポの火を納火



いちご一会とちぎ国体冬季大会の概要

- (1)大会名 第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会及びアイスホッケー競技会
- (2)大会愛称 いちご一会とちぎ国体
- (3)スローガン 夢を感動へ。感動を未来へ。
- (4)開催期間 令和4(2022)年1月24日(月)～30日(日)

(5)開始式・表彰式の期日及び会場

開始式：令和4(2022)年1月24日(月)
 表彰式 スケート：令和4(2022)年1月28日(金)
 アイスホッケー：令和4(2022)年1月30日(日)
 開始式会場：日光市今市文化会館
 表彰式会場：観光ホテル日光千姫物語

(6)実施競技

正式競技：2競技
 デモンストラレーションスポーツ：1競技

(7)マスコットキャラクター



「環境に配慮したいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の推進を宣言しています。

式典の概要

- (1)式典テーマ 夢を感動へ。感動を未来へ。
- (2)式典の基本的な考え方
- 県民総参加のもと、簡素な中にも創意工夫を凝らしながら、感動を共有し、すべての人々の記憶に残る式典
 - 美しい自然や優れた歴史・文化、豊かな食文化などの栃木の魅力を全国に発信する式典
 - 訪れる人々の心のこもった「おもてなし」で迎え、出会いと交流により人々の絆が深まる式典

次 第

開 始 式

次 第	
1	開場
2	歓迎アトラクション開始
3	歓迎アトラクション終了
4	参加都道府県旗入場・選手団紹介
5	開式通告
6	競技会開始宣言
7	国旗儀礼
8	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗儀礼
9	栃木県旗・参加都道府県旗・日光市旗儀礼
10	大会会長トロフィー返還
11	日本スポーツ協会あいさつ
12	スポーツ庁あいさつ
13	中央競技団体あいさつ
14	歓迎のこたば
15	選手代表宣言
16	閉式通告
17	役員・選手団解散

表 彰 式

次 第	
1	開場
2	開式通告
3	成績発表
4	表彰状授与
5	大会会長トロフィー授与
6	競技会会長閉会あいさつ
7	会場地あいさつ
8	国旗儀礼
9	競技会終了宣言
10	閉式通告
11	役員・選手団解散

※次第・時刻については現時点での案であり、公益財団法人日本スポーツ協会との協議のうえ、正式決定します。

歓迎アトラクション（開始式のみ）

基本方針

- 秋の本大会へ繋がる、国体 year の幕開けを飾るにふさわしいものとなるよう、期待感と応援ムードを高揚させる内容とします。
- 会場地市である日光市に関わりのある人物、団体等を活用します。
- 既存の演目、素材等を活用します。
- 本大会へと繋がる内容とします。

内 容

- 日光市ゆかりの出演者によるパフォーマンス
- 映像プログラム
- いちご一会ダンス

式典音楽

栃木ゆかりの楽曲を取り入れ、全員で感動を共有することのできる式典音楽とします。

式典使用楽曲

- 「ファンファーレⅠ～Ⅳ」 ■ 栃木ゆかりの童謡メドレー ■ いちご一会マーチ
- 行進曲「ふるさと栃木」 ■ 栃木ゆかりのポップスメドレーマーチ等

音楽隊編成

区分	出演者	人数
吹奏楽隊	高等学校	40名程度
合唱隊	高等学校	50名程度
合計		約90名

報告事項11

令和3年1月28日 第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会決定事項

令和3年2月9日 文部科学省及び（公財）日本障がい者スポーツ協会協議済

いちご一会とちぎ大会 競技別会期

1 いちご一会とちぎ大会 競技別会期

式典	会場地	会 場	第1日	第2日	第3日
			10/29	10/30	10/31
			土	日	月
開 会 式	宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ (栃木県総合運動公園陸上競技場)	◎		
閉 会 式					◎

【正式競技】

【正式競技】

競技		障害区分	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日	第3日
						10/29	10/30	10/31
						土	日	月
個人競技	陸上競技	身・知	宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ (栃木県総合運動公園陸上競技場)	3	●	●	●
	水泳	身・知	宇都宮市	日環アリーナ栃木屋内水泳場 (栃木県総合運動公園屋内水泳場)	3	●	●	●
	アーチェリー	身	那須烏山市	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場	1		●	
	卓球 (サウンドテーブルテニスを含む)	身・知・精	鹿沼市	TKCいちごアリーナ (鹿沼総合体育館)	3	●	●	●
	フライングディスク	身・知	栃木市	栃木市総合運動公園陸上競技場	3	●	●	●
	ボウリング	知	足利市	足利スターレーン	2	●	●	
	ボッチャ	身	那須塩原市	三和住宅にしなすのスポーツプラザ (にしなすの運動公園) 体育館	2	●	●	
団体競技	バスケットボール	知	宇都宮市	日環アリーナ栃木メインアリーナ (栃木県総合運動公園メインアリーナ)	2	●	●	
	車いすバスケットボール	身	小山市	栃木県立県南体育館	2	●	●	
	ソフトボール	知	大田原市	美原公園野球場・第2球場	2	●	●	
	グランドソフトボール	身	宇都宮市	宇都宮市屋板運動場運動広場	2	●	●	
	バレーボール	身	宇都宮市	宇都宮市清原体育館	2	●	●	
		知	宇都宮市	宇都宮市体育館	2	●	●	
		精	佐野市	佐野市アリーナたぬま	2	●	●	
	サッカー	知	真岡市	真岡市総合運動公園陸上競技場・運動 広場1	3	●	●	●
	フットベースボール	知	足利市	足利市総合運動場硬式野球場・軟式野 球場	2	●	●	

【オープン競技】

競技	障害区分	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日	第3日
					10/29	10/30	10/31
					土	日	月
					土	日	月
卓球バレー	身・知・精	宇都宮市	わかくさアリーナ (とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター)	1		10/2 (日)	
車椅子ダンス	身	栃木市	関東ホーチキにしかた体育館 (栃木市西方総合文化体育館)	1		●	
スポーツウエルネス吹矢	身	さくら市	さくら市氏家体育館	1	●		

2 いちご会とちぎ大会リハーサル大会 競技別会期 【正式競技】

競技	障害区分	会場地	競技会場	競技 日数	第1日	第2日
					5/21	5/22
					土	日
個人 競技	陸上競技	身・知	宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ (栃木県総合運動公園陸上競技場)	1	●
	水泳	身・知	宇都宮市	日環アリーナ栃木屋内水泳場 (栃木県総合運動公園屋内水泳場)	1	●
	アーチェリー	身	那須烏山市	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場	1	●
	卓球 (サウンドテーブルテニスを含む)	身・知・精	鹿沼市	T K C いちごアリーナ (鹿沼総合体育館)	1	●
	フライングディスク	身・知	栃木市	栃木市総合運動公園陸上競技場	1	●
	ボウリング	知	足利市	足利スターレーン	1	●
	ボッチャ	身	那須塩原市	三和住宅にしなすのスポーツプラザ (にしなすの運動公園) 体育館	1	●
団体 競技	バスケットボール	知	宇都宮市	日環アリーナ栃木メインアリーナ (栃木県総合運動公園メインアリーナ)	2	● ●
	車いすバスケットボール	身	小山市	栃木県立県南体育館	2	● ●
	ソフトボール	知	大田原市	美原公園野球場・第2球場	2	● ●
	グラウンドソフトボール	身	宇都宮市	宇都宮市屋板運動場運動広場	1	●
	バレーボール	身	宇都宮市	宇都宮市清原体育館	2	● ●
		知	宇都宮市	宇都宮市体育館	2	● ●
		精	佐野市	佐野市アリーナたぬま	2	● ●
	サッカー	知	真岡市	真岡市総合運動公園陸上競技場・運動広場1	2	● ●
	フットベースボール	知	足利市	足利市総合運動場硬式野球場・軟式野球場	1	●

※団体競技については、申込み状況に応じて期日が変更になる場合がある。

いちご一会とちぎ大会 大会役員編成基準

1 趣 旨

いちご一会とちぎ大会の円滑な運営に資するため、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（以下「要綱」という。）第 18 に基づき、別紙「いちご一会とちぎ大会 大会役員編成基準」のとおり大会役員編成基準を制定する。

2 編成方針

要綱の規定を原則としながら、本県の状況を勘案の上、編成する。

3 今後の予定

文部科学省及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会へ報告する。

いちご一会とちぎ大会 大会役員編成基準

団体名 役職名	国	中央関係団体	栃木県	市町村	各関係団体
名誉会長	文 部 科 学 大 臣				
名誉副会長	ス ポ ー ツ 庁 長 官 ス ポ ー ツ 庁 次 長	日本障がい者スポーツ協会会長			
会 長			知 事		
副 会 長	ス ポ ー ツ 庁 総 括 官	日本障がい者スポーツ協会副会長	県 議 会 議 長 副 知 事	開 催 地 市 長 開 催 地 市 議 会 議 長 県 市 長 会 会 長 県 町 村 会 会 長 県 市 議 会 議 長 会 会 長 県 町 村 議 会 議 長 会 会 長	一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会連合会会長 一般社団法人 栃木県視覚障害者福祉協会会長 一般社団法人 栃木県聴覚障害者協会理事長 一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会会長 一般財団法人 栃木県精神衛生協会 社会福祉法人 栃木県社会福祉協議会 特定非営利法人 栃木県障害者スポーツ協会会長 栃木県特別支援学校長会会長 栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会部長 公益財団法人 栃木県スポーツ協会理事長
顧問	文 部 科 学 副 大 臣 文 部 科 学 大 臣 政 務 官 文 部 科 学 事 務 次 官 文 部 科 学 審 議 官 文 部 科 学 省 大 臣 官 房 長	日本スポーツ協会会長 全国社会福祉協議会会長 日本身体障害者団体連合会会長 全国手をつなぐ育成会連合会会長 日本知的障害者福祉協会会長 日本精神保健福祉連盟会長 J K A 会 長 日 本 医 師 会 会 長 中央競馬馬主社会福祉財団理事長	県 選 出 国 会 議 員		開催県の報道機関の代表者 開催県の競技団体代表者 県スポーツ推進審議会会長
参 与	ス ポ ー ツ 庁 健 康 ス ポ ー ツ 課 長 ス ポ ー ツ 庁 競 技 ス ポ ー ツ 課 長 ス ポ ー ツ 庁 健 康 ス ポ ー ツ 課 障 害 者 ス ポ ー ツ 振 興 室 長 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室長	日本障がい者スポーツ協会理事 日本障がい者スポーツ協会監事 日本障がい者スポーツ協会評議員 日本パラ陸上競技連盟会長 日本知的障がい者陸上競技連盟会長 日本パラ水泳連盟理事長 日本知的障害者水泳連盟会長 日本身体障害者アーチェリー連盟会長 日本肢体不自由者卓球協会会長 日本視覚障害者卓球連盟会長 日本知的障がい者卓球連盟会長 日本障害者フライングディスク連盟理事長 日本ボッチャ協会代表理事 日本FIDバスケットボール連盟会長 日本車いすバスケットボール連盟会長 日本知的障がい者ソフトボール連盟理事長 全日本グランドソフトボール連盟会長 日本知的障がい者サッカー連盟理事長 日本知的障がい者フットベースボール連盟会長 日本視覚障害者団体連合スポーツ協議会会長 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員長 全日本知的障がい者スポーツ協会会長 日本精神保健福祉連盟精神障害者スポーツ推進委員会委員長	県 議 会 議 員 公 安 委 員 会 委 員 長 教 育 委 員 会 委 員 長 部 局 長 会 計 管 理 者 会 計 局 長 警 察 本 部 長	県 内 市 町 長 県 内 市 町 議 会 議 長 開 催 地 市 副 市 長 開 催 地 市 教 育 長	県 実 行 委 員 会 常 任 委 員

いちご一会とちぎ大会 特別招待者の範囲

いちご一会とちぎ大会の特別招待者の範囲は、別紙「いちご一会とちぎ大会 特別招待者の範囲」のとおりとする。

1 趣旨

いちご一会とちぎ大会の開・閉会式に招待する特別招待者の範囲を定める。

2 招待者の範囲設定方針

先催県の事例及び本県の状況を勘案の上、設定する。

3 今後の予定

文部科学省及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会へ報告する。

いちご一会とちぎ大会 特別招待者の範囲

区分		招待者の範囲	備考
県外	1 都道府県	知事 議会議長 教育長	
	2 政令指定都市	市長 議会議長	
	3 次期開催県等	先催都道府県の民生主管部(局)長 後催都道府県の全国障害者スポーツ大会主管部(局)長 近隣県の民生主管部(局)長	先催2県 後催4県 関東各都県
	4 中央官庁関係	所管大臣経験者、所管地方支分部局 等	
	5 特別協力者	特別協力者 ※特別協賛企業、オフィシャルスポンサーなどから 県実行委員会事務局において特に必要な者を選定	
県内	1 県実行委員会委員	実行委員会委員 各専門委員会委員長及び委員 各部会部会長及び委員	
	2 障害者福祉団体関係	活動範囲が県内全域に及ぶ団体又はこれに類する団体の長 大会協力団体の長	
	3 学校関係	活動範囲が県内全域に及ぶ団体又はこれに類する団体の長 大会協力学校長 特別支援学校長	
	4 体育団体関係	活動範囲が県内全域に及ぶ団体又はこれに類する団体の長	
	5 県関係	各種行政委員会委員 県スポーツ推進審議会委員	
	6 市町村関係	各開催市実行委員会事務局長 開・閉会式会場地市議会議員 開・閉会式会場地市教育委員会委員 各市町村教育長	
	7 県政功労者	県政に特に功績があった者	
	8 特別協力者	特別協力者 ※特別協賛企業、オフィシャルスポンサーなどから 県実行委員会事務局において特に必要な者を選定	

なお、上記から大会役員及び競技会役員を除くものとする。

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会実施要綱

1 目的

全国障害者スポーツ大会リハーサル大会（以下「リハーサル大会」という。）は、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」（令和4(2022)年10月29日～31日）の開催に備えて、競技運営、審判技術等の向上を図るとともに、「いちご一会とちぎ大会」に対する県民の理解と関心を高めるため実施する。

2 主催

栃木県、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、大田原市、那須塩原市、那須烏山市

一般財団法人栃木県身体障害者福祉会連合会、一般社団法人栃木県視覚障害者福祉協会、一般社団法人栃木県聴覚障害者協会、一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会、一般財団法人栃木県精神衛生協会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会、栃木県障がい者スポーツ指導者協議会、栃木県特別支援学校長会、栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、公益財団法人栃木県スポーツ協会

3 競技運営主管団体

一般財団法人栃木陸上競技協会、栃木県水泳連盟、栃木県アーチェリー協会、栃木県卓球連盟、栃木県障害者フライングディスク協会、栃木県ボウリング連盟、栃木県ボッチャ協会、一般社団法人栃木県バスケットボール協会、栃木県ソフトボール協会、栃木県バレーボール協会、公益社団法人栃木県サッカー協会

4 特別協賛

大同生命保険株式会社

5 協賛

（1） 国体・大会パートナー（10社）

北関東総合警備保障株式会社、株式会社TKC、株式会社足利銀行、フタバ食品株式会社、株式会社栃木銀行、株式会社下野新聞社、藤井産業株式会社、一般社団法人栃木県建設業協会、株式会社ヨークベニマル、関東自動車株式会社

（令和3(2021)年6月18日現在）

(2) オフィシャルスポンサー (8社)

トヨタウッドユーホーム株式会社、株式会社カンセキ、東日本電信電話株式会社
栃木支店、光陽エンジニアリング株式会社、大和証券株式会社、とちぎ建設技術セ
ンター、菊地歯車株式会社、栃木県農業協同組合中央会

(令和3(2021)年6月18日現在)

(3) オフィシャルサポーター (27社)

株式会社富貴沢建設コンサルタンツ、栃木セキスイハイム株式会社、株式会社景
観プランニング、株式会社ダスキン北関東地域本部、栃木県信用保証協会、足利小
山信用金庫、栃木信用金庫、佐野信用金庫、鹿沼相互信用金庫、大田原信用金庫、
烏山信用金庫、一般社団法人栃木県トラック協会、レオン自動機株式会社、栃木県
北建設業協同組合、株式会社田中工業、中村土建株式会社、栃木県スポーツ用品販
売協同組合、富士通株式会社 (小山工場・栃木支店・那須工場3社合同)、有限会
社ル・フェステ、一般社団法人栃木県設備業協会、真岡信用組合、那須信用組合、
栃木県森林組合連合会、株式会社ヨコブリシ、株式会社いづみや、丸彦製菓株式会
社、宇都宮記念病院

(令和3(2021)年6月18日現在)

(4) オフィシャルサプライヤー (23社)

コクヨ北関東販売株式会社、栃木日産自動車販売株式会社、日産プリンス栃木販
売株式会社、栃木トヨタ自動車株式会社、栃木トヨペット株式会社、ネットヨタ
栃木株式会社、トヨタカローラ栃木株式会社、栃木ホンダ販売株式会社、株式会社
ホンダカーズ栃木、株式会社ホンダカーズ南栃木、株式会社ホンダベルノ栃木中、
株式会社アクティブホンダ、株式会社ホンダプリモ中央、栃木スバル自動車株式会
社、株式会社北関東マツダ栃木事業部、株式会社スズキ自販栃木、栃木ダイハツ販
売株式会社、トヨタレンタリース栃木、オリックスレンタカー、株式会社イノマ
タ、日光霧降大笹牧場株式会社、株式会社エフエム真岡、東武鉄道株式会社

(令和3(2021)年6月18日現在)

(5) 大会協力企業 (5社)

栃木いすゞ自動車株式会社、栃木日野自動車株式会社、宇都宮中央ライオンズク
ラブ、株式会社ルイ高、株式会社栃木銀行

(令和3(2021)年6月18日現在)

6 協力企業・団体 (団体)

※ 付帯サービス (車いす修理所、補装具修理所、情報支援スタッフ養成連絡会議構
成団体) 等の協力団体を記載。学生ボランティアのある学校は記載しない。

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、一般社団法人栃木県聴覚障害者協会、特定非営利活動法人栃木県中途失聴・難聴者協会、栃木県手話通訳士協会・特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会栃木支部・栃木県手話通訳問題研究会

7 大会期日

令和4(2022)年5月21日(土)、22日(日)

8 実施競技及び大会名

実施競技		大会名
個人競技	陸上競技(身・知)	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第18回栃木県障害者スポーツ大会 ※アーチェリー(身)は第43回関東甲信越 身体障害者アーチェリー選手権栃木大会を兼ねる
	水泳(身・知)	
	アーチェリー(身)	
	卓球(身・知・精) 【サウンドテーブルテニス(身)を含む】	
	フライングディスク(身・知)	
	ボッチャ(身)	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第18回栃木県障害者スポーツ大会 兼 第5回栃木県ボッチャ大会
	ボウリング(知)	
団体競技	バスケットボール(知)	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第22回全国障害者スポーツ大会 バスケットボール競技関東ブロック予選会
	車いすバスケットボール(身)	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第22回全国障害者スポーツ大会 車いすバスケットボール競技関東ブロック予選会
	ソフトボール(知)	第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第22回全国障害者スポーツ大会 ソフトボール競技関東ブロック予選会

団 体 競 技	グランドソフトボール (身)	第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会
	バレーボール (身)	第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第 22 回全国障害者スポーツ大会 聴覚障害者バレーボール競技関東ブロック予選会
	バレーボール (知)	第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第 22 回全国障害者スポーツ大会 知的障害者バレーボール競技関東ブロック予選会
	バレーボール (精)	第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第 22 回全国障害者スポーツ大会 精神障害者バレーボール競技関東ブロック予選会
	サッカー (知)	第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第 22 回全国障害者スポーツ大会 サッカー競技関東ブロック予選会
	フットベースボール(知)	第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」 リハーサル大会 兼 第 22 回全国障害者スポーツ大会 フットベースボール競技関東ブロック予選会

9 実施競技、開催期日及び会場

実施競技		開催期日	会場名
個人競技	陸上競技（身・知）	5月22日	カンセキスタジアムとちぎ （栃木県総合運動公園陸上競技場）
	水泳（身・知）	5月22日	日環アリーナ栃木屋内水泳場 （栃木県総合運動公園屋内水泳場）
	アーチェリー（身）	5月22日	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場
	卓球（身・知・精） 【サウンドテーブル テニス（身）を含む】	5月22日	TKCいちごアリーナ （鹿沼総合体育館）
	フライングディスク（身・知）	5月22日	栃木市総合運動公園陸上競技場
	ボッチャ（身）	5月22日	三和住宅にしなすのスポーツプラザ （にしなすの運動公園）体育館
	ボウリング（知）	5月22日	足利スターレーン
団体競技	バスケットボール（知）	5月21日、22日	日環アリーナ栃木メインアリーナ （栃木県総合運動公園メインアリーナ）
	車いすバスケットボール（身）	5月21日、22日	栃木県立県南体育館
	ソフトボール（知）	5月21日、22日	美原公園野球場・第2球場
	グラウンドソフトボール（身）	5月22日	宇都宮市屋板運動場運動広場
	バレーボール（身）	5月21日、22日	宇都宮市清原体育館
	バレーボール（知）	5月21日、22日	宇都宮市体育館
	バレーボール（精）	5月21日、22日	佐野市アリーナたぬま
	サッカー（知）	5月21日、22日	真岡市総合運動公園陸上競技場・運動広場1
	フットベースボール（知）	5月22日	足利市総合運動場硬式野球場・軟式野球場

（注） 身：身体障害者が出場できる競技
知：知的障害者が出場できる競技
精：精神障害者が出場できる競技

10 出場資格

（1） 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

ア 年齢要件

（ア） 個人競技については、令和4(2022)年4月1日現在で12歳以上である者。

（イ） 団体競技については、令和4(2022)年4月1日現在で13歳以上である者。

イ 資格要件

- (ア) 身体障害者は、身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者。
- (イ) 知的障害者は、厚生事務次官通知（昭和 48 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害（※1）のある者。
- (ウ) 精神障害者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害（※1）のある者。

※1「その取得の対象に準ずる障害」については、別途令和 4（2022）年度に適用の全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則に定める。

ウ 個人競技については、原則として栃木県内に現住所を有する者又は栃木県内に所在する施設や学校等に入所、通所及び通学している者。ただし、アーチェリー、ボッチャは除く。

エ 団体競技については、申込み時に参加する都県・指定都市に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、学校に通学している者及び施設に入所・通所している者は、その学校及び施設の所在地の都県・指定都市でも参加できるものとする。

- (2) 団体競技に出場するチームは、原則として全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則 3（1）に規定する関東ブロックの都県・指定都市の代表チーム。

11 競技規則

適用する競技規則は、令和 4（2022）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定。以下「大会競技規則」という。）及び別に定める競技別実施要領によるものとする。

12 競技・種目及び障害・年齢区分

- (1) 競技・種目及び障害区分は＜別表 1＞「第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」リハーサル大会競技・種目」のとおりとする。
- (2) 大会競技規則第 2 条 3 に定める年齢区分の基準日は、令和 4（2022）年 4 月 1 日とする。

13 出場制限

(1) 個人競技

個人競技に出場する選手は、原則として一人 1 競技参加可能とする。

ア 陸上競技に出場する選手は、原則として 1 種目までとする。（リレー種目に出場する選手は 2 種目までとする）

イ 水泳に出場する選手は、原則として 2 種目までとする。（リレー種目に出場する選手は 3 種目まで）出場できるものとする。

ウ フライングディスクに出場する選手は、アキュラシー 1 種目とディスタンスの計 2 種目に出場できるものとする。

エ アーチェリーに出場する選手は、1 種目のみの出場とする。

(2) 団体競技

団体競技に出場する選手は、他の団体競技及び個人競技には出場できない。

14 監督会議

開催する場合、時間及び会場は別に定める。

15 健康・安全管理

参加選手の健康・安全面については、各選手団において十分配慮するものとし、主催者においては、応急の処置のみを行う。

16 参加申込み及び参加費用

- (1) 個人競技の参加選手については、別に定める手続きにより出場選手の競技・種目の申込みを行う。団体競技の参加チーム及び出場選手については、10(2)の都県・指定都市が派遣するものとし、別に定める手続きにより申込みを行う。
- (2) 参加料は無料とする。なお、選手の参加に要する費用は、参加者において負担するものとする。
- (3) 大会当日、各会場にテレビ、新聞等の報道機関が来場するとともに、大会期間前後で選手の名前、写真、映像等がテレビ、新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム、会場内結果速報、県及び実行委員会のウェブページに、名前、性別、障害区分、年齢区分、所属、競技中の写真及び競技記録等を掲載し、場合によっては県広報誌等に競技中の写真及び競技記録等を掲載することがあるので、このことを了承の上、申し込むこと。

17 その他

- (1) リハーサル大会における個人競技の記録は、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」及び特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に出場する栃木県の選手を選考する際の参考資料とする。
- (2) 各競技は雨天決行とする。ただし、主催者（県）が競技運営主管団体と協議の上、荒天又はその他の都合で実施できないと判断した場合は中止とする。
- (3) できる限り公共交通機関を利用して来場すること。
- (4) ゴミは各自持ち帰ること。
- (5) この要綱に定めるもののほか、リハーサル大会の実施に関して必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、令和3(2021)年7月1日から施行する。

<別表 1>

第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」リハーサル大会競技・種目

(1) 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし

				区分 番号	障害区分	競走							跳躍			投てき				
						※2 30m	※2 50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	※1 4×100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全		◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎	
			2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全		◎	◎				※4 ◎			▲	◎	◎				
			3	両上腕切断または、両上肢完全		◎	◎							▲	◎	◎				
		下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全		◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5	片大腿切断または、片下肢完全		◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6	両下腿切断		◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎	◎								◎		◎	◎	◎		
			8	両大腿切断または、両下肢完全	◎											◎	◎	◎		
		体幹	9	体幹 ※3		◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎			
	2	脳原性麻痺、 脳血管疾患、 外傷等	10	第6頸髄まで残存		◎	◎					◎							◎	
			11	第7頸髄まで残存			※4 ◎	※4 ◎		※4 ◎	※4 ◎	◎							◎	
			12	第8頸髄まで残存			◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし			◎	◎		◎		※4 ◎				◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり			※4 ◎	※4 ◎		※4 ◎						◎	◎	◎		
			15	その他の車いす			◎	◎		◎						◎	◎	◎		
	3	(脳原性麻痺、 脳血管疾患、 外傷等)	16	四肢麻痺で車いす使用	◎	◎						◎							◎	
			17	けって移動		◎						◎							◎	
			18	片上下肢で車いす使用		◎						◎					◎	◎		
			19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			20	その他走不能	◎											◎	◎	◎		
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能		◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			22	その他走可能		◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	4		23	電動車いす常用	◎							◎						◎		
視覚障害 ※5			24	視力0から0.01まで ※6		◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			25	その他の視覚障害		◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			26	聴覚障害		◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎		
知的障害			27	知的障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎		
内部障害			28	ぼうこう又は直腸機能障害		◎					◎			◎	◎		◎	◎		

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 30m及び50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部および腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する)。ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

(2) 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

				自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		※1 4×50m リレー	※1 メドレー 4×50m リレー
		区分 番号	障害区分	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m		
肢体不自由	1	上肢	1 手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			2 片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			3 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			4 両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			5 両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		下肢	6 片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			7 片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			8 両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			9 両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		上下肢	10 片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			11 多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		体幹	12 体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	2	脳 す外 常で 用車 麻痺	13 第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
			14 第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			15 下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			16 下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	3	(脳性 麻痺、 脳外傷等) 脳血管	17 四肢麻痺(車いす常用)または、 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
			18 両下肢麻痺または、 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			19 片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
			20 その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			21 その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	4		22 浮具使用	◎	◎	◎		◎					
視覚障害 ※2			23 視力0から0.01まで ※3	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
			24 その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そ しゃく機能障害			25 聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
知的障害			26 知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△

※1 リレー、メドレーリレーは男女混合とする。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※3 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

(3) アーチェリー

●男女別

		区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド	
				50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m
肢体不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他の車いす	●	●		
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害（椅子・車いす使用を含む）	●	●		
		5	体幹	●	●		
	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	6	脳原性麻痺（椅子・車いす使用を含む）	●	●	●	●
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害		7	聴覚障害	●	●		
内部障害		8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●		

※ 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

(4) 卓球

◎男女別、年齢区分別 ●男女別

			区分番号	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
		体幹	6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖または、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2			15	アイマスクまたは、アイシェードあり ※3		◎
			16	アイマスクまたは、アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたは、アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

(5) フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由	◇	◇	●	●
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害				
内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害）				

(6) ボッチャ

△男女混合・年齢区分なし

			区分番号	障害区分	競技スタイル	
					立位	座位
肢 体 不 自 由	1	切断・機能障害	1	多肢切断または、両下肢完全で立位	△	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存		△
			3	第7頸髄まで残存		△
			4	第8頸髄まで残存		△
			5	多肢切断		△
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	6	四肢麻痺で車いす常用		△
			7	けって移動		△
			8	片上下肢で車いす常用または、使用		△
			9	その他走不能	△	
	4		10	電動車いす常用		△

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※座位で競技する選手（区分2～8および10）の選手で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

(7) ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

(8) バスケットボール

知的障害者で、男女別に実施する。

(9) 車いすバスケットボール

肢体不自由者の車いす使用者で、大会競技規則第9部第3条の規定に該当する者。

(10) ソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

(11) グランドソフトボール

視覚障害者のみの競技とする。

(12) バレーボール

聴覚障害者と知的障害者で、男女別に実施する。

精神障害者は、男女混合とする。

(13) サッカー

知的障害者のみの競技とする。

(14) フットベースボール

知的障害者のみの競技とする。

専決処分した事項

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則第 15 条第 1 項の規定に基づき、次のとおり専決処分を行いましたので、同条第 2 項の規定により報告します。

1 令和 2 年度補正予算（9 月補正）

令和 2 年 10 月 16 日 専決処分

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	説 明
負 担 金	290,475	▲16,493	273,982	事業費の減に伴う県負担金の減
合 計	290,475	▲16,493	273,982	

(2) 支出の部

(単位：千円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	説 明
事 業 費	263,056	▲1,493	261,563	いちご一会花リレー 試行栽培の中止等による減
事務局費	27,419	▲15,000	12,419	鹿児島国体・障スポ の開催延期に伴う視察費用の減
合 計	290,475	▲16,493	273,982	

2 令和2年度補正予算（12月補正）

令和2年12月25日 専決処分

（1）収入の部

（単位：千円）

科 目	現計予算額	補正額	補正後予算額	説 明
負 担 金	273,982	44,101	318,083	事業費の増に伴う県負担金の増
合 計	273,982	44,101	318,083	

（2）支出の部

（単位：千円）

科 目	現計予算額	補正額	補正後予算額	説 明
事 業 費	261,563	44,101	305,664	国体競技別リハーサル大会等における新型コロナウイルス感染症対策経費の増
事務局費	12,419	0	12,419	
合 計	273,982	44,101	318,083	

3 令和2年度補正予算（3月補正）

令和3年3月18日 専決処分

（1）収入の部

（単位：千円）

科 目	現計予算額	補正額	補正後予算額	説 明
負 担 金	318,083	▲43,000	275,083	事業実績の減に伴う県負担金の減
合 計	318,083	▲43,000	275,083	

（2）支出の部

（単位：千円）

科 目	現計予算額	補正額	補正後予算額	説 明
事 業 費	305,664	▲36,000	269,664	事業実績の減
事務局費	12,419	▲7,000	5,419	事業実績の減
合 計	318,083	▲43,000	275,083	

4 令和3年度暫定収支予算

令和3年4月1日 専決処分

(1) 収入の部

(単位：千円)

科 目	暫定予算額	説 明
負 担 金	6 7 4, 6 6 3	栃木県負担金
合 計	6 7 4, 6 6 3	

(2) 支出の部

(単位：千円)

科 目	暫定予算額	説 明
事 業 費	6 6 8, 1 2 4	○総務広報等関連事業費 ・ 広報啓発 ・ 参加章等制作 等 ○開閉会式会場等整備・宿泊輸送等関連事業費 ・ 開・閉会式会場等整備実施設計 ・ 配宿計画策定、輸送計画策定 ・ 開・閉会式等警備計画書作成 等 ○競技式典関連事業費 ・ 冬季国体式典企画・運営 ・ 国体競技別リハーサル大会運営費助成 ・ セーリング競技リハーサル大会開催 等 ○障スポ関連事業費 ・ ボランティア養成 ・ 競技会場整備 等
事 務 局 費	6, 5 3 9	事務局運営費
合 計	6 7 4, 6 6 3	

審 議 事 項

第 1 号議案

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 令和 2（2020）年度 事業報告（案）

1 開催準備業務

主な業務	内容	備考
組織体制の整備	・全国障害者スポーツ大会課の設置 ・千葉事務所（セーリング競技会開催準備）の開設（千葉市内）	
各種基本計画等の策定	・「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言 ・開・閉会式会場等整備基本設計 ・式典実施計画 ・仮配宿計画、第 1 次輸送計画 ・県及び会場地市の業務分担・経費負担基本方針（障スポ） ・障スポ競技別会期 ・障スポ情報保障体制整備基本方針 ・障スポ競技会場整備基本設計 ・文化プログラム事業実施要項	
会場地市町村の選定等	・開催予定施設変更（国体・障スポ）	
専門委員会の運営	下記「2 会議の開催」記載のとおり	
実施予定競技の選定	◇デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地追加選定 ・実施競技：カーリング ・開催予定施設：日光市細尾ドームリンク ◇障スポオープン競技の追加選定 ・実施競技：スポーツウエルネス吹矢 ・競技会場：さくら市氏家体育館	
競技役員等養成	・競技役員等養成事業（国体・障スポ）の実施	
募金・企業協賛推進	・いちご一会募金（寄附金）及び協賛企業の募集等 ・いちご一会とちぎ大会への特別協賛決定	
広報啓発	◇いちご一会運動（県民運動）の展開 ・応援バンダナを活用した「オールとちぎプロ	

	ジェクト」第1弾 ・運営ボランティア、情報支援スタッフの募集開始 ・選手団サポーター協力養成校の委嘱 ・広報ボランティア、いちご一会ダンスキャラバン隊によるPR活動 ・SNSを活用した「Twitter 拡散・沢山プレゼントキャンペーン」の実施 ◇主なイベント ・いちご一会募金（寄附金）銘板除幕式の開催 ・冬季大会開催1年前キャンペーンの実施 ・カウントダウンモニュメント、カウントダウンボード点灯式 ・公式ポスター、炬火台及び炬火トーチデザイン表彰式	
情報支援スタッフ養成	・情報支援スタッフ養成事業の実施	
国体競技用具整備事業	・ビームライフル銃、電子標的等の整備	

2 会議の開催

(1) 総会

回数	開催年月日	総員(回答)	議案	開催場所
第2回	R2.9.3 (議決日)	224名 (176名)	・令和元年度事業報告(案) ・令和元年度収支決算(案) ・令和2年度事業計画(案) ・令和2年度収支予算(案)	書面開催

(2) 常任委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R2.8.6	55名(54名)	・専門委員会規程の改正(案) ・デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場追加選定(案) ・デモンストレーションスポーツの競技会場の変更(案) ・オープン競技の追加選定及び競技会場の変更(案)	宇都宮 グランドホテル

			・県及び会場地市の業務分担・経費負担基本方針（案） ・環境に配慮した取組（案）	
第3回	R2.11.25 （議決日）	54名 （53名）	・競技会場の変更（案） ・冬季大会表彰式会場の変更（案）	書面開催
第4回	R3.2.26 （議決日）	54名 （44名）	・デモンストレーションスポーツ競技会場の変更（案） ・大会実施要項総則（案） ・冬季大会実施要項総則（案） ・競技施設整備計画（第5次）（案）	書面開催

（3）募金・企業協賛推進委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
			開催実績無し	

（4）専門委員会

ア 総務企画専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R2.6.24	16名(15名)	・環境に配慮した取組（案） ・文化プログラム実施要項（案）	栃木県庁北別館
第3回	R2.10.21 （議決日）	16名(16名)	・競技会場の変更（案） ・冬季大会 表彰式会場の変更（案）	書面開催
第4回	R3.1.29 （議決日）	16名(16名)	・冬季大会 招待者の範囲(案) ・本大会 特別招待者の範囲(案)	書面開催

イ 施設整備専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R3.1.19 （議決日）	15名(15名)	・競技施設整備計画（第5次）（案） ・サインデザインガイドライン（案）	書面開催

ウ 競技運営専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第3回	R2. 6. 29	15 名(13 名)	・デモンストレーションスポーツ実施競技選択及び会場地追加選定(案) ・デモンストレーションスポーツにおける競技会場及び競技名の変更(案) ・競技会会期の変更(案) ・競技別リハーサル大会(案) ・練習会場(最終案)	栃木県庁北別館
第4回	R3. 1. 28 (議決日)	15 名(15 名)	・大会実施要項総則(案) ・冬季大会実施要項総則(案) ・デモンストレーションスポーツ競技会場及び名称の変更(案) ・冬季大会競技役員最終編成(案) ・競技会会期の変更(案) ・デモンストレーションスポーツ競技会会期(案) ・競技別リハーサル大会の追加承認及び日程等変更(案) ・練習会場の変更(案) ・表彰状、額縁等の素材・規格・基本的なデザイン(案)	書面開催

エ 広報・県民運動専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R2. 6. 24	23 名(19 名)	・公式ポスターデザイン募集要項(案)及び審査要領(案) ・大会参加章等デザインコンペ実施要項(案)及び審査要領(案)	栃木県庁北別館
第3回	R3. 1. 27 (議決日)	23 名(23 名)	・公式ポスターデザイン入賞作品等(案) ・参加章、記念章及び大会メダルデザイン(案) ・参加章及び記念章並びに参加章交付取扱要領(案) ・おもてなし広場基本計画(案) ・総合案内所基本計画(案)	書面開催

オ 宿泊・衛生専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R3.1.25 (議決日)	18名(18名)	・宿泊要項(案) 【本大会・冬季大会・障スポ】 ・感染症対策実施要領(案) ・食品衛生対策実施要領(案) ・宿舍衛生対策実施要領(案) ・弁当調達要項(案) ・開・閉会式等に係る弁当調製施設選定基準(案) ・馬事衛生対策要項改正(案) ・馬事衛生対策実施要領(案)	書面開催

カ 医療救護専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第1回	R2.11.10	12名(11名)	・医療救護要項(案) 【本大会・冬季大会・障スポ】 ・医療救護実施要領(案) ・会場地市町村医療救護業務指針(案)	栃木県庁北別館

キ 輸送・交通専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第1回	R2.11.9	19名(19名)	・輸送・交通要項(案) 【本大会・冬季大会・障スポ】	栃木県庁北別館

ク 式典専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R2.5.26	19名(16名)	・式典実施計画の策定 ・式典実施計画骨子(案) ・炬火台、炬火トーチ、炬火受皿デザイン制作(案)	栃木県庁北別館
第3回	R2.7.28	19名	・炬火台、炬火トーチデザイン制作(案)	書面評決
第4回	R2.9.16	19名(18名)	・式典実施計画掲載項目に係る検討状況等 ・式典全体スケジュール(案) ・オープニングプログラム、エンディングプログラム構成(案)	栃木県庁北別館

			・ 炬火イベント（案） ・ 開、閉会式出演者等の選定方針（案） ・ 式典音楽に係る検討状況 ・ 式典演技構成（案） ・ 式典演技出演団体の選定（案）	
第5回	R3. 1. 15	19 名(17 名)	・ 式典実施計画（案） ・ 国体総合開会式・大会開会式オープニングプログラム出演団体募集要項（案） ・ 式典使用楽曲（案） ・ 式典音楽隊の出演者、団体選出（案） ・ とちぎ大会歓迎演技演出構成（案） ・ 式典演技振付師、伴奏曲作曲家（案） ・ 式典演技出演団体（案） ・ 炬火台、炬火トーチデザイン選定	栃木県庁北別館

ケ 警備・消防専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第2回	R2. 11. 20	9 名(9 名)	・ 自主警備業務実施計画（案） ・ 消防防災業務実施計画（案） ・ 大規模災害・突発重大事案対策業務実施計画（案） ・ 会場管理運営要綱（案）	栃木県庁北別館

コ セーリング競技会専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第3回	R2. 10. 15	22 名(18 名)	・ いちご一会とちぎ国体セーリング競技会おもてなし実施計画（案） ・ いちご一会とちぎ国体セーリング競技会宿泊・医事衛生実施計画（案） ・ いちご一会とちぎ国体セーリング競技会輸送交通・警備消防防災実施計画（案）	ホテルポートブラザちば

サ 全国障害者スポーツ大会専門委員会

回数	開催年月日	総員(出席)	議案	開催場所
第3回	R2. 7. 20	35 名(34 名)	・資格審査実施要項（案） ・オープン競技の追加選定及び競技会場の変更（案） ・県及び会場地市の業務分担・経費負担基本方針（案）	栃木県総合文化センター
第4回	R3. 1. 28 (議決日)	35 名(35 名)	・競技別会期（案） ・情報保障体制整備基本方針（案） ・競技開始式・表彰式実施要項（案）	書面開催

(5) 市町村連絡会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
第2回	R2. 4. 27	—	・競技会運営経費（第2次）調査について ・いちご一会運動について ・公式ポスターデザインの制作について ・大会参加章及び記念章並びに参加章及び大会メダルの制作について ・運営ボランティア募集要項 ・花いっぱい運動に係る令和2（2020）年度試行栽培の中止について ・会場地市町村警備・消防防災業務の手引き ・国体に係る宿泊業務について ・国体に係る輸送業務について ・国体に係る弁当施設調査について ・開・閉会式会場等整備基本計画の概要 ・競技別リハサル大会運営経費調査（最終）要領 ・競技用具整備計画（最終）調査 実施要領 ・競技役員等編成調査（第3次・仮名簿）実施要領 ・競技補助員・競技会補助員 協力依頼先希望調査（最終）実施要領	資料送付

			・いちご一会とちぎ大会の開催準備状況及び今後のスケジュールについて	
第3回	R2.11.4	60名	・文化プログラム事業の募集について ・いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会における環境に配慮した取組について ・識別品の配色について ・職員のサービスの取扱いについて ・いちご一会運動における学校への協力依頼事項について ・花いっぱい運動について ・都道府県応援団について ・会場地市町村警備・消防防災業務について ・競技会場の仮設物設置に係る建築基準法の取扱い及び手続き等について ・サインデザインガイドラインについて ・国体に係る宿泊・輸送業務等について ・競技会開催に係る補助員の協力依頼について ・国体におけるアンチ・ドーピング活動に関する業務について ・競技別リハーサル大会の開催準備に係る業務について ・新型コロナウイルス感染症対策について	栃木県庁研修館

(6) 冬季大会市町村・競技団体担当者会議

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
第4回	R2.9.28	17名	・緊急時対応及び中止条件等調査について	栃木県庁北別館

(7) 競技運営担当者会議【正式競技・特別競技】

回数	開催年月日	出席	説明事項	開催場所
第1回	R2.9.30	—	・各競技別実施要項（第1次案）の作成について ・競技日程・組合せ表（第1次案）作成について ・大会参加申込締切日及び競技の振り分け案について ・表彰状・賞状必要枚数（第1次）調査について	資料送付

3 各種調査の実施

主な調査	内容
先催県の情報収集	・令和2年度開催県検討会議（第1回：書面開催、第2回：オンライン開催）での意見交換及び施設調査 ・全国障害者スポーツ大会開催都道府県連絡会議（本県）での意見交換及び施設調査 ・2020 Laser All Japan Championships（三重県津市）セーリング大会運営状況確認及び調査
競技関係調査	・競技用具整備計画（最終）調査 ・競技役員等編成（3次）調査 ・競技補助員・競技会補助員協力依頼先希望調査（最終） ・表彰状・賞状必要枚数（第1次）調査 ・デモンストレーションスポーツ競技会会期調査
運営経費調査	・競技別リハサル大会開催経費調査（最終）
宿泊業務関係調査	・宿泊施設実態調査【本大会・冬季大会・障スポ】 ・宿泊施設バリアフリー調査
輸送・交通業務関係調査	・競技会場地輸送調査 ・バス提供可能台数調査 ・福祉車両提供意向等調査
標準献立業務関係調査	・弁当調製施設調査
医療救護関係調査	・救護所設置計画調査（第1次）
障スポ競技関係調査	・競技用具整備調査（第1次） ・競技役員等編成調査（第1次） ・選手団参加意向調査（第1次） ・会場地バリアフリー調査（カンセキスタジアムとちぎ 他）

第2号議案

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 令和2（2020）年度 収支決算（案）

収入決算額 261,605,306 円
支出決算額 261,603,432 円
差引残額 1,874 円
(差引残額は、翌年度繰り越し)

1 収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額	予算現額 (A)	決算額 (B)	比較増減額 (B) - (A)	内容
負担金	290,475,000	275,083,000	261,603,432	▲ 13,479,568	栃木県負担金
繰越金	0	0	1,522	1,522	過年度預金利息
その他の収入	0	0	352	352	当年度預金利息
合計	290,475,000	275,083,000	261,605,306	▲ 13,477,694	

2 支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	予算現額 (A)	決算額 (B)	比較増減額 (B) - (A)	内容
事業費	263,056,000	269,641,942	256,909,895	▲ 12,732,047	各種会議開催経費 (875,752) 千葉事務所設置運営費 (5,292,907) 広報啓発費 (78,774,187) 参加章等制作費 (3,707,990) 募金・企業協賛推進費 (9,197,433) 障スポボランティア養成事業費 (6,498,229) 障スポ競技会場整備事業費 (7,966,642) 障スポ競技役員等養成事業費 (62,713) 施設整備費 (8,005,460) 宿泊衛生費 (31,404,980) 輸送交通費 (11,197,660) 式典費 (32,378,020) 国体競技役員等養成事業費 (3,070,912) 国体競技用具整備事業費 (13,710,910) セーリング競技会開催準備費 (691,630) 国体・障スポ感染症対策事業費 (44,074,470)
事務局費	27,419,000	5,441,058	4,693,537	▲ 747,521	事務局運営費
合計	290,475,000	275,083,000	261,603,432	▲ 13,479,568	

監 査 報 告 書

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会における令和2年度会計について、関係書類や預金通帳を基に監査を実施しましたが、経費の支出目的及び執行とも適切に処理されていたことを報告いたします。

令和3（2021）年7月6日

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会監事

栃木県会計管理者会計局長 熊倉 精介 

県市長会事務局長・町村会常務理事 水沼 忠雄 

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会
令和3（2021）年度 事業計画（案）

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会の令和3年度事業計画は、次のとおりとする。

1 開催準備業務

- （1）各種基本方針等の策定
- （2）各種システム構築（来場者管理システム、障スポ競技運営支援システム等）
- （3）広報啓発
- （4）参加章、記念章等の制作・配布
- （5）募金・企業協賛の推進
- （6）開・閉会式会場等整備実施設計
- （7）障スポ競技会場整備実施設計
- （8）国体・障スポ配宿計画策定
- （9）標準献立作成及び弁当調製施設の募集・選定
- （10）国体・障スポ医療救護実施計画策定
- （11）国体・障スポ輸送計画策定
- （12）開・閉会式等警備計画書作成
- （13）式典実施要項策定
- （14）炬火台設計、炬火トーチ等制作
- （15）国体・障スポ競技用具整備
- （16）国体・障スポ競技役員等養成事業
- （17）セーリング競技会リハーサル大会会場設営・運営
- （18）国体競技別リハーサル大会運営費助成
- （19）運営ボランティア及び情報支援スタッフの募集・登録・養成
- （20）障スポ選手団サポーターの養成
- （21）冬季国体の開催
 - ・おもてなし・歓迎装飾の実施
 - ・開始式・表彰式の企画・運営
 - ・競技記録の収集・公表 等

2 会議の開催

- （1）総会
- （2）常任委員会
- （3）専門委員会
- （4）募金・企業協賛推進委員会
- （5）市町村・競技団体連絡会議

3 各種調査の実施

- (1) 各計画、設計等にかかる調査
- (2) 先催県の情報収集

4 協議・連絡調整の実施

公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会並びに
関係機関・団体との連絡調整

第4号議案

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 令和3（2021）年度 収支予算（案）

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会の令和3年度収支予算は、次のとおりとする。

1 収入の部 (単位：千円)

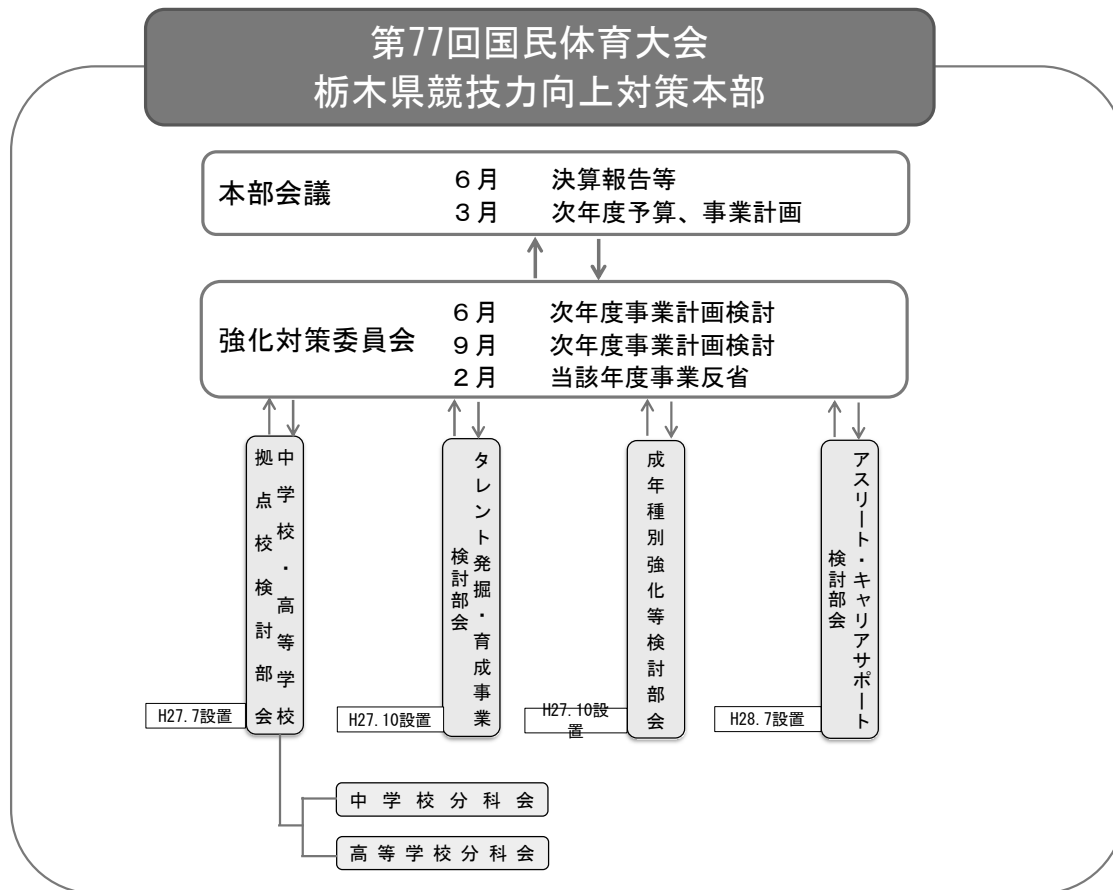
科 目	本年度予算額	説 明
負 担 金	9 5 7 , 2 2 3	栃木県負担金
合 計	9 5 7 , 2 2 3	

2 支出の部 (単位：千円)

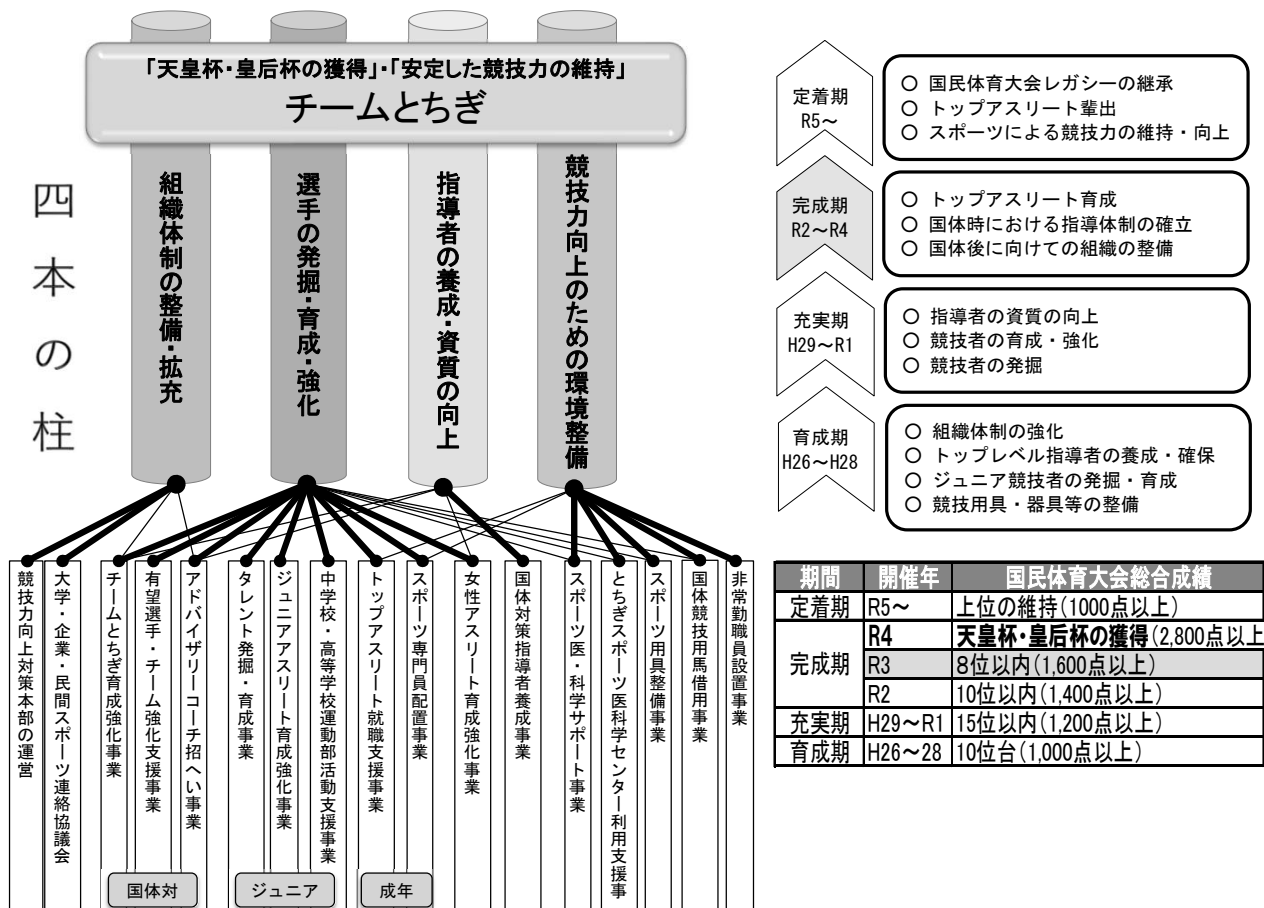
科 目	本年度予算額	説 明
事 業 費	9 2 5 , 0 2 7	○総務広報等関連事業費 ・来場者管理システム開発 ・広報啓発 ・参加章等制作 等 ○開閉会式会場等整備・宿泊輸送等関連事業費 ・開・閉会式会場等整備実施設計 ・配宿計画策定、輸送計画策定 ・開・閉会式等警備計画書作成 等 ○競技式典関連事業費 ・冬季国体式典企画・運営 ・国体競技別リハーサル大会運営費助成 ・セーリング競技リハーサル大会開催 等 ○障スポ関連事業費 ・ボランティア養成 ・競技会場整備 等
事務局費	3 2 , 1 9 6	事務局運営費
合 計	9 5 7 , 2 2 3	

說 明 事 項

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部の組織図



栃木県競技力向上基本計画



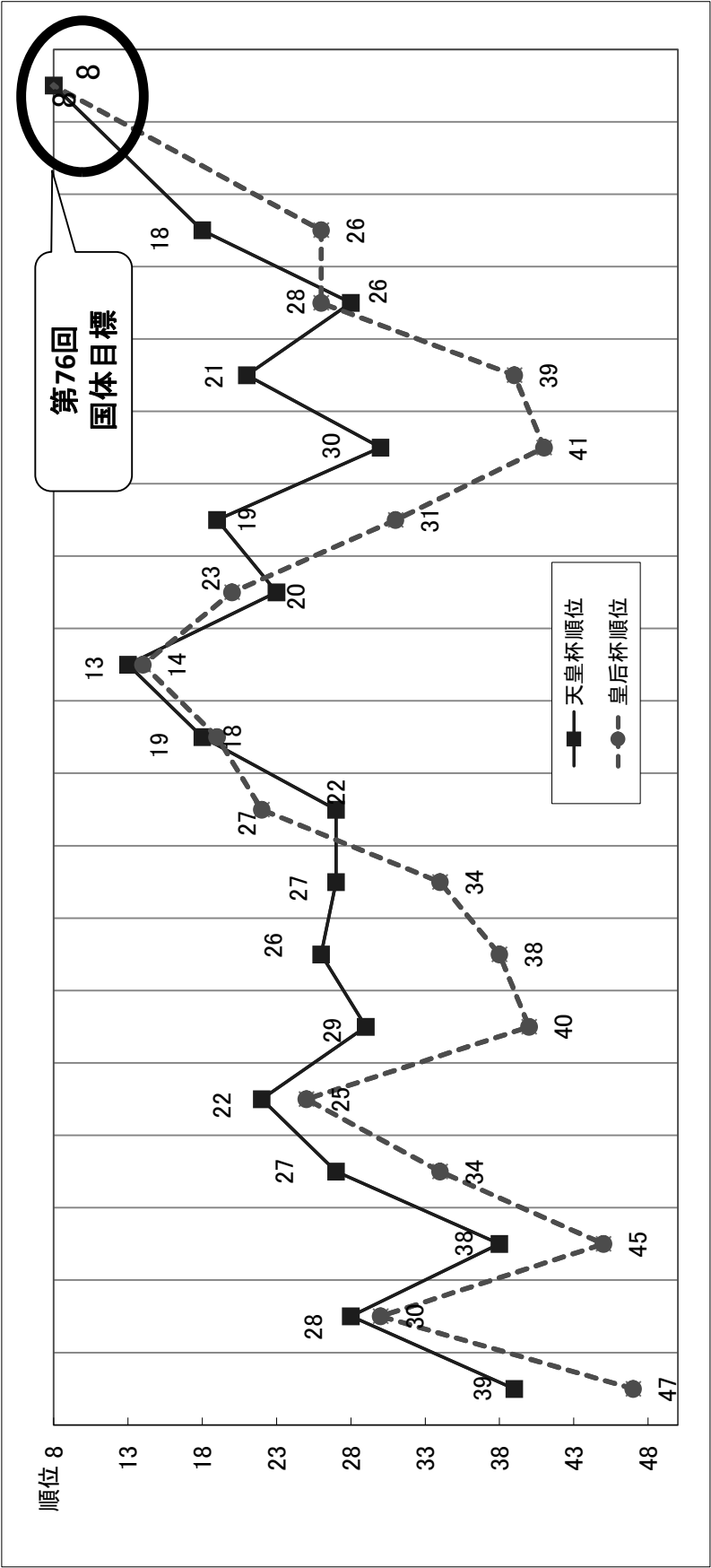
栃木県競技力向上推進計画

年 度		平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)
回		69	70	71	72	73	74	75	76	77
国体開催地		長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木
		8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
区 分		育 成 期			充 実 期			完 成 期		
目 標		○組織体制の強化 ○トップレベル指導者の養成・確保 ○ジュニア競技者の発掘・育成 ○競技用具・器具等の整備 ○その他			○指導者の資質の向上 ○競技者の育成・強化 ○競技者の発掘 ○その他			○トップアスリート育成 ○国体時における指導体制の確立 ○国体後に向けての組織の整備 ○その他		
整 組 備 織 ・ 体 拡 充 制 充 の	競技力向上対策本部の運営 競技団体の組織力の強化 民間団体等との連携	競 技 力 向 上 対 策 本 部 の 運 営								第 7 回 国 民 体 育 大 会 い ち ご 一 会 と ち ぎ 国 体
		競 技 団 体 の ス キ ル ア ッ プ				強 化 計 画 の 推 進				
		大 学 ・ 企 業 ・ 民 間 ス ポ ー ツ 団 体 と の 連 携								
選 手 の 発 掘 ・ 育 成 ・ 強 化	国体対策強化	競 技 力 の ラ ン ク ア ッ プ サ ポ ー ト								
		ア ド バ イ ザ リ ー コ ー チ の 派 遣								
		新 規 導 入 競 技 の サ ポ ー ト								
	ジュニア選手 発掘・育成・強化	タ レ ント 発 掘 ・ 育 成								
		ジュニアアスリートの育成と強化								
		中 学 校 ・ 高 等 学 校 拠 点 校 の 指 定								
	成年選手の育成・強化・確保	有 望 選 手 ・ チ ー ム の 強 化 支 援								
		優 秀 選 手 の 確 保								
		ふ る さ と 選 手 の サ ポ ー ト								
	女性アスリート強化	女 性 ア ス リ ー ト の 強 化								
・ 指 資 導 者 の の 養 向 上 成	優秀指導者の養成・資質向上 優秀指導者の確保と適正配置 運動部活動指導者の養成	指 導 者 の 養 成								
		優 秀 指 導 者 等 の 採 用 と 適 正 配 置								
競 技 力 向 上 の た め の 環 境 整 備	スポーツ情報戦略	ス ポ ー ツ 情 報 の 発 信								
		戦 力 分 析 ・ デ ー タ 収 集 等								
	スポーツ医・科学サポート	ス ポ ー ツ 医 ・ 科 学 サ ポ ー ト の 推 進								
	会場市町との連携	会 場 市 町 と 各 競 技 団 体 と の 連 携								
	特殊器具・用具の整備	ス ポ ー ツ 用 具 の 整 備								
	施設の優先利用	練 習 施 設 の 優 先 利 用								

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

栃木県選手団国体成績の推移

スポーツ振興課



開催数	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
西暦	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
開催県	静岡県	埼玉県	岡山県	兵庫県	秋田県	大分県	新潟県	千葉県	山口県	岐阜県	東京都	長崎県	和歌山県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県	三重県
天皇杯順位	39	28	38	27	22	29	26	27	27	18	13	23	19	30	21	28	18	—	8
男女総合得点	738.5	928.5	781.5	872.5	1032.5	910.5	908	929	920	1,006	1,037	967	1,029	903.5	964	876	1,075.5	—	1,600
皇后杯順位	47	30	45	34	25	40	38	34	22	19	14	20	31	41	39	26	26	—	8
女子総合得点	340	460.5	347.5	438	491.5	420.5	420.5	436.5	498	546	584.5	540	454.5	452.5	461	538.5	551	—	750

スポーツ専門員配置事業 実施要項

1 目 的

第 77 回国民体育大会（以下、「とちぎ国体」という）での天皇杯・皇后杯獲得を目指し、優れた競技技術・経験を有するものを「スポーツ専門員」として雇用することで本県競技力の一層の向上を図る。

2 対象者

国民体育大会の正式競技に取り組んでいる選手で、次に掲げる条件のいずれかを満たし、とちぎ国体において上位入賞が期待できる者とする。

- (1) 採用予定日を基準とする過去 3 年間に、国際大会に日本代表選手として選ばれた者。
- (2) 採用予定日を基準とする過去 3 年間に、国民体育大会や全日本選手権大会若しくはこれに準ずる大会で、個人又は団体の優勝又はそれに準ずる成績を収めた者（団体競技は主力選手として出場していた者）。なお、インターハイや国民体育大会少年種別等の高校生までの大会成績は、上記の成績に含めないものとする。

3 雇用者

公益財団法人栃木県スポーツ協会

4 業務内容

本県競技力向上を図るための業務

- (1) 選手としての競技力向上
- (2) 競技団体の強化練習会等での本県選手への指導・助言
- (3) 拠点校での部活動のサポート

5 配置先

選手として競技力向上に資するため効率的かつ効果的な配置先を設定する。

（高等学校（県立・私立）、大学、スポーツ施設、県スポーツ協会等）

6 雇用期間

令和 3（2021）年 4 月 1 日から令和 4（2022）年 3 月 31 日までの 1 年間

（※令和 4（2022）年度まで更新可能）

7 勤務時間

週 29 時間以内（原則として週 5 日）

8 報 酬

月額 25 万円（年間 300 万円）

9 社会保険、災害補償

健康保険、厚生年金保険、雇用保険へ加入。労働者災害保険法の定めるところ。

10 休 暇

年次有給休暇：10 日（※更新する者は労働基準法第 39 条の定めるところによる）

11 令和 4（2022）年度採用のスケジュール

令和 3（2021）年 4 月～	競技団体から推薦者のエントリーシート提出・受付
随時	対策本部事務局にて面接・審査・内定
令和 4（2022）年 3 月	本部会議にて承認・決定
4 月	スポーツ専門員の認定

令和3(2021)年度スポーツ専門員認定者

No.	氏名	競技	性別	出身地
1	あべ けいご 阿部 啓吾	スケート(スピードスケート)	男	北海道
2	うさみ すずね 宇佐見 鈴音	スケート(スピードスケート)	女	北海道
3	おがわ たくろう 小川 拓朗	スケート(スピードスケート)	男	北海道
4	かみかど ふたば 上鹿渡 双葉	スケート(スピードスケート)	女	北海道
5	かわめ たくま 川目 拓磨	スケート(スピードスケート)	男	北海道
6	きたはら もえ 北原 もえ	スケート(スピードスケート)	女	長野県
7	くまがい ほのか 熊谷 帆乃香	スケート(スピードスケート)	女	岩手県
8	なかむら はやと 中村 隼人	スケート(スピードスケート)	男	北海道
9	やまもと たいし 山本 大史	スケート(スピードスケート)	男	青森県
10	かわい たつろう 河合 健朗	スケート(ショートトラック)	男	埼玉県
11	さいとう けい 齋藤 慧	スケート(ショートトラック)	男	神奈川県
12	やまうら みわこ 山浦 美和子	スケート(ショートトラック)	女	長野県
13	ゆずぎ たつり 柚木 辰徳	アイスホッケー	男	栃木県
14	きむら よしひろ 木村 吉大	スキー(コンパインド)	男	秋田県
15	くりた りき 栗田 力樹	スキー(ジャンプ)	男	長野県
16	おぐら けんじ 小椋 健司	陸上競技(やり投)	男	鳥取県
17	せきぐち きよ乃 関口 清乃	陸上競技(ハンマー投)	女	埼玉県
18	たけうち もえ 竹内 萌	陸上競技(走高跳)	女	埼玉県
19	たけだ れいじ 武田 歴次	陸上競技(砲丸投)	男	徳島県
20	ひがしだ あきひろ 東田 旺洋	陸上競技(100m)	男	奈良県
21	もろた みさき 諸田 実咲	陸上競技(棒高跳)	女	群馬県
22	えのもと はるか 榎本 遼香	水泳(飛込)	女	栃木県
23	すやま はるき 須山 晴貴	水泳(飛込)	男	島根県
24	いまにし みはる 今西 美晴	テニス	女	京都府
25	かわはし ゆうた 川橋 勇太	テニス	男	東京都
26	もりさき かなこ 森崎 可南子	テニス	女	茨城県
27	こが けんじ 古賀 健嗣	ボート	男	長崎県
28	かとう りょうせい 加藤 凌聖	ホッケー	男	富山県

No.	氏名	競技	性別	出身地
29	きりした よしき 霧下 義貴	ホッケー	男	奈良県
30	あおき しょうた 青木 翔汰	体操(体操競技)	男	愛知県
31	いせき みのり 井関 実紀	体操(体操競技)	女	神奈川県
32	うちやま ゆき 内山 由綺	体操(体操競技)	女	東京都
33	なかがわ まさみち 中川 将径	体操(体操競技)	男	千葉県
34	まえだ こう輝 前田 航輝	体操(体操競技)	男	岡山県
35	やまもと いぶき 山本 威吹	体操(体操競技)	男	岡山県
36	ゆあさ けんや 湯浅 賢哉	体操(体操競技)	男	千葉県
37	うえの ゆうじろう 上野 裕次郎	レスリング(フリースタイル)	男	岐阜県
38	やべ かずき 矢部 和希	レスリング(グレコローマン)	男	神奈川県
39	いざき ちなつ 井崎 茅夏	ウエイトリフティング	女	京都府
40	ジェンディ いまむ 今夢	ウエイトリフティング	男	東京都
41	やまむら ゆい 山村 侑生	ウエイトリフティング	女	香川県
42	いしはら ゆうき 石原 悠希	自転車	男	栃木県
43	かみはら りょうた 貝原 涼太	自転車	男	福岡県
44	あんどう みなみ 安藤 みなみ	卓球	女	愛知県
45	よしだ まさき 吉田 雅己	卓球	男	北海道
46	いとう たくま 伊藤 拓真	フェンシング	男	岐阜県
47	たけなか みほ 竹中 美帆	剣道	女	鳥取県
48	たはら りょうた 田原 瞭太	カヌー(スプリント)	男	熊本県
49	にしぶん ゆきこ 西分 友貴子	カヌー(スプリント)	女	大阪府
50	ほすみ しゅうへい 八角 周平	カヌー(スプリント)	男	千葉県
51	もりやま わかな 森山 和佳奈	カヌー(スプリント)	女	香川県
52	さいとう こうすけ 齋藤 康祐	カヌー(スラローム)	男	神奈川県
53	とみさわ くるみ 富沢 くるみ	カヌー(スラローム)	女	北海道
54	ひきた かなな 疋田 かなな	なぎなた	女	岩手県
55	すぎはら ゆうき 杉原 有紀	トライアスロン	女	滋賀県

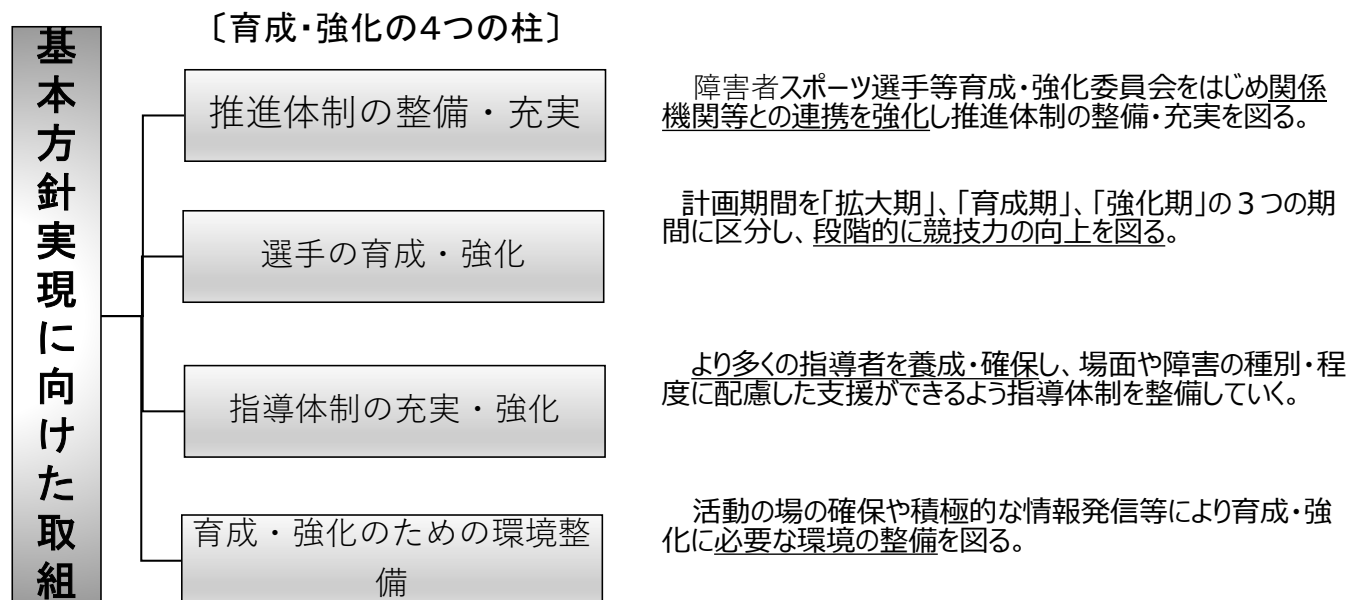
1 栃木県障害者スポーツ選手等育成・強化基本計画の概要 (TOCHIGI CHALLENGE PLAN)

栃木県保健福祉部障害福祉課

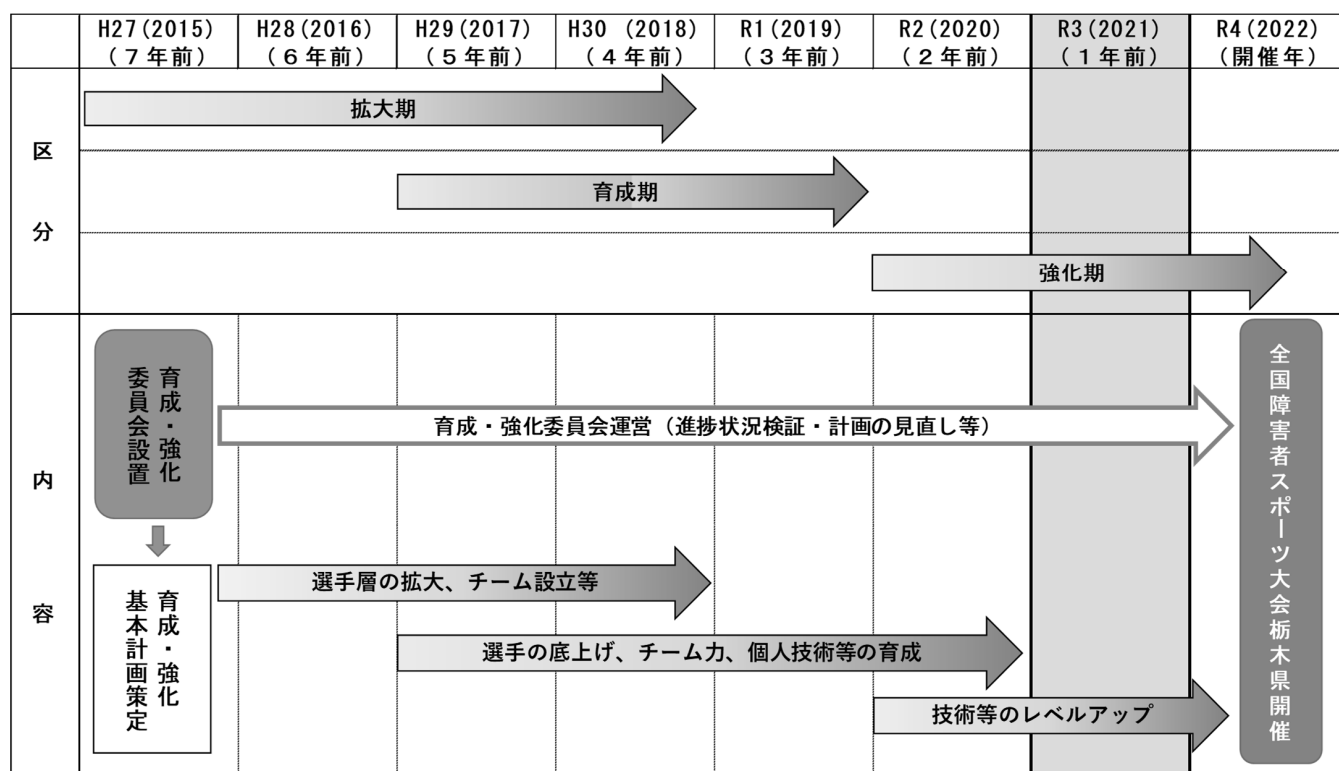
《基本方針》

- 1 全競技への出場を目指し、競技人口の拡大と本県未実施団体競技のチーム設立・定着を図る。
- 2 育成強化に関する計画の決定と計画に基づく各種取組を効果的に推進する。
- 3 開催県として相応しい成績の獲得を目指す。
- 4 障害者スポーツの理解促進を図るとともに、障害者のスポーツ参加機会の確保に努めていく。

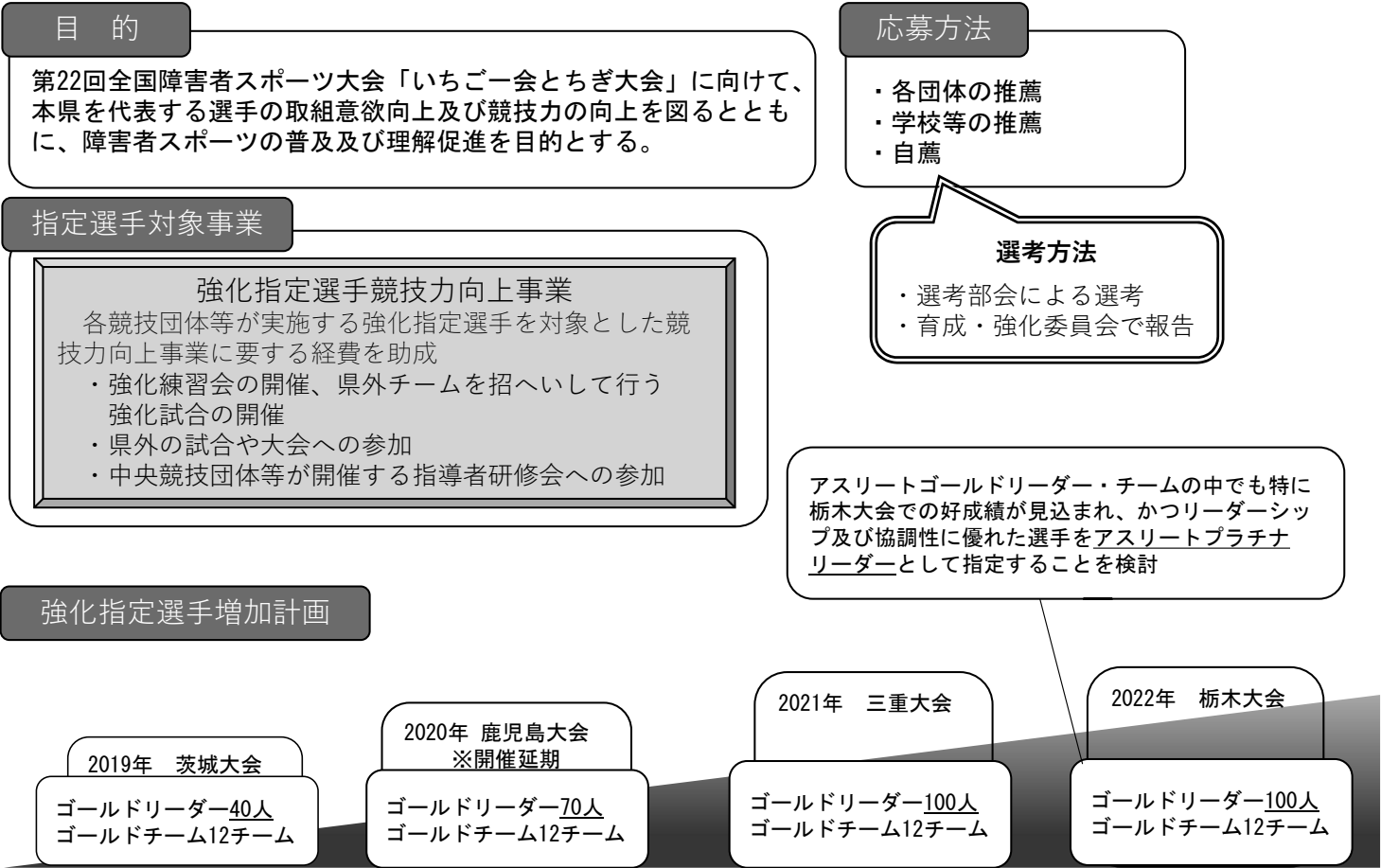
《栃木県障害者スポーツ選手等の育成・強化のための取組》



《育成・強化基本計画のスケジュール》



2 強化指定選手制度（アスリートゴールドリーダー・チーム制度）の概要



3 第22回全国障害者スポーツ大会に向けた選手団づくり

出場54名

	競技種目	障害区分	R元(2019) 茨城大会
個人競技	陸上	身体、知的	20名
	水泳	身体、知的	7名
	アーチェリー	身体	1名
	卓球(STT) (精神は2019茨城から)	身体、知的、精神	6(1)名
	フライングディスク	身体、知的	6名
	ボウリング	知的	2名
	ボッチャ (2021三重から)	身体	1名
団体競技	バスケットボール	知的 (男女別)	予選敗退
	車いすバスケットボール	身体	予選敗退
	ソフトボール	知的	予選敗退
	グランドソフトボール	身体(視覚)	予選敗退
	バレーボール	身体(聴覚・男女別)	男:本戦出場 女:予選敗退
		知的 (男女別)	予選敗退
		精神	予選敗退
		サッカー	知的
	フットベースボール	知的	予選敗退

出場300名

	R4(2022) 栃木大会
個人競技	58名
	20名
	3名
	20(2)名
	23名
	13名
	6名
団体競技	24(12・12)名
	12名
	15名
	15名
	24(12・12)名
	24(12・12)名
	12名
	16名
	15名

本県大会では

障害者スポーツ選手等育成・強化事業

個人競技裾野拡大事業 (H28~)
体験会や地域ごとのスポーツ大会を開催し、全国障害者スポーツ大会の競技種目で裾野拡大を図る。

特別支援学校等スポーツ活動支援事業 (H29~)
特別支援学校、特別支援学級等に在籍する障害のある児童・生徒に障害者スポーツ体験の場を提供し、裾野拡大を図る。

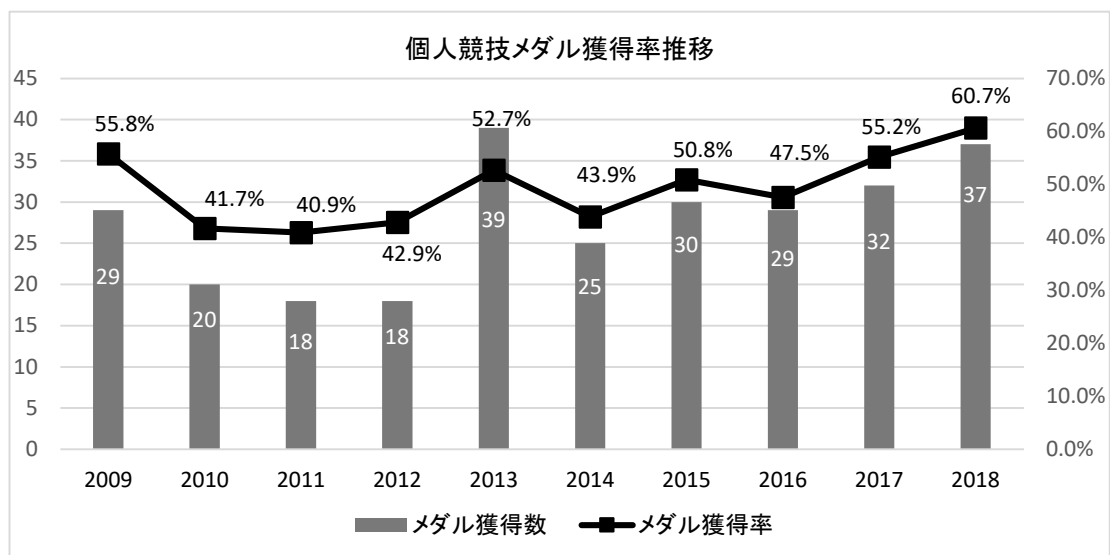
強化指定選手育成事業 【R元~一部新規】
本県を代表する選手を強化指定選手として任命することで、選手の取組意欲向上及び競技力向上を目指す。
○任命式の開催
○強化指定選手競技力向上事業補助金の創設【R2新規】
〔補助内容〕
・強化練習会開催事業
・県外遠征事業
・指導者育成事業
※R3強化指定選手数
個人競技100名、団体競技12チーム

指導者資質向上事業 (H28~)
障がい者スポーツ指導員等の養成、資格取得を支援し、指導者の資質向上を図る。

4 栃木県選手団（個人競技）メダル獲得推移

大会	年度	開催地	メダル 獲得数 (A)				選手数		メダル 獲得率 (A)/(B)
				金	銀	銅	実	延(B)	
第9回	2009	新潟県	29	7	6	16	28	52	55.8%
第10回	2010	千葉県	20	4	9	7	26	48	41.7%
第11回	2011	山口県	18	6	5	7	22	44	40.9%
第12回	2012	岐阜県	18	3	4	11	22	42	42.9%
第13回	2013	東京都	39	12	13	14	39	74	52.7%
第14回	2014	長崎県	25	8	8	9	32	57	43.9%
第15回	2015	和歌山県	30	15	7	8	31	59	50.8%
第16回	2016	岩手県	29	8	14	7	32	61	47.5%
第17回	2017	愛媛県	32	10	10	12	29	58	55.2%
第18回	2018	福井県	37	14	16	7	32	61	60.7%
第19回	2019	茨城県	台風接近のため中止						
第20回	2020	鹿児島県	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催延期が決定						

第22回	2022	栃木県	メダル獲得率目標（個人競技）					70.0%
------	------	-----	----------------	--	--	--	--	-------



○過去10年間のメダル獲得率は平均50%程度であるが、直近3年間は上昇傾向

○メダルの最多獲得数は2013年東京大会の39個、最高獲得率は2018年福井大会の60.7%

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会における 環境に配慮した取組について

【本】：本大会・障スポ大会

【冬】：冬季大会

1 「オールとちぎ（県民、企業、団体、行政）」による環境に配慮した両大会の実現

- ・再生可能エネルギー（地中熱空調システム、太陽熱給湯システム）設備の活用【本・冬】
- ・会場等における食品ロスやゴミ削減などの呼びかけ【本・冬】
- ・COOL CHOICE とちぎによる地球温暖化対策の普及啓発【本・冬】
- ・FCV、EV自動車を活用したイベントスペース等への電力供給【本】
- ・公共交通機関の利用促進【本・冬】

2 「メイド・イン・とちぎ」による環境配慮の製品・サービスの活用

- ・運営スタッフ等が着用する服飾類における再生素材の利用【本・冬】
- ・包装類でのプラスチック以外の素材利用【本・冬】
- ・FSC（森林認証）を受けた紙素材の利用【本・冬】
- ・各種媒体の電子化による紙使用量の削減【本・冬】
- ・両大会での使用を想定した、県内ものづくり企業による環境負荷の低減が図れる製品の開発支援【本・冬】

3 「次世代のとちぎ」への成果の引き継ぎ

- ・環境問題に関する県民意識の高揚と行動の変容
- ・環境への配慮を通じた本県の魅力・実力の認知向上

説明事項（４）

いちご一会募金（寄附金）・企業協賛の状況について

１ いちご一会募金（寄附金）

○平成 31(2019)年 4 月 1 日から募集開始

○1 万円以上を寄附していただいた個人、10 万円以上を寄附していただいた企業・団体については、カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）に銘板を設置し顕彰（希望者に限る。）

(1) 募金・寄附金の状況（令和 3（2021）年 7 月 16 日現在）

区 分		募金・寄附金額	備 考
募 金		約 130 万円	
寄 附 金	個 人	約 2,530 万円	約 1,490 名
	企業・団体	約 3,910 万円	約 260 社
合 計		約 6,570 万円	

(2) 銘板の設置状況

設置回数（設置年度）	区 分	設置枚数	
第 1 回（令和 2 年度）	個人	568 枚	702 枚
	企業・団体	134 枚	
第 2 回（令和 3 年度）	個人	570 枚	643 枚
	企業・団体	73 枚	
合 計			1,345 枚

※第 3 回は令和 4（2022）年 5 月頃を、第 4 回は令和 4（2022）年 9 月頃を予定



現地銘板写真
（カンセキスタジアム
とちぎAゲート付近）

2 企業協賛の状況（令和3（2021）年7月16日現在）

○令和元（2019）年8月5日の実行委員会設置を契機として本格募集開始

○いちご一会とちぎ国体本大会・いちご一会とちぎ大会に係る協賛制度及びいちご一会とちぎ国体冬季大会に係る協賛制度の2つの協賛制度を運用

(1) いちご一会とちぎ国体本大会・いちご一会とちぎ大会

区 分		協 賛 金 額	協賛社数
協賛金	国体パートナー	1,000 万円以上	10 社
	オフィシャルスポンサー	500 万円以上 1,000 万円未満	8 社
	オフィシャルサポーター	100 万円以上 500 万円未満	37 社
協賛物品	オフィシャルサプライヤー	100 万円相当額以上	25 社
	大会協力企業	10 万円相当額以上	7 社
合 計			87 社

(2) いちご一会とちぎ国体冬季大会

区 分		協 賛 金 額	協賛社数
協賛金	冬季国体パートナー	180 万円	7 社
	冬季国体スポンサー	60 万円	13 社
	冬季国体サポーター	50 万円	5 社
	プログラム等印刷物広告協賛	30 万円以下	1 社
協賛物品	冬季国体サプライヤー	30 万円相当額以上	1 社
	冬季国体協力企業	10 万円相当額以上	1 社
合 計			28 社



いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会



ボランティアの登録状況について

（令和３（2021）年６月３０日現在）

運営ボランティア

	募集人数(延べ数)	登録状況
いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会	5,250 名	1,038 名



情報支援スタッフ

	募集人数	登録状況
手話	600 名	334 名
筆談・要約筆記（手書き）	250 名	81 名
要約筆記（パソコン）	50 名	33 名



広報ボランティア

募集人員		令和元(2019)年から令和３(2021)年度まで毎年度 100 名程度	
登録者数		389 名	
登録者の内訳	令和２年度の継続者	135 名	○大学・短大 31 名 ○専門学校等 2 名 ○高等学校 102 名
	令和３年度新規登録者	254 名	○大学・短大 19 名 ○専修学校等 6 名 ○高等学校 229 名



いちご一会とちぎ国体 いちご一会とちぎ大会

いちご一会運動（県民運動）の実施状況について

1 いちご一会ダンスキャラバン隊

イメージソングに合わせて振り付けた「いちご一会ダンス」の普及のため、令和2（2020）年10月より県内の幼稚園・保育園、小・中学校等を訪問

○申込・訪問件数

申込件数	訪 問 件 数		
	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	
	10月～3月	4月～6月	7月以降（予定）
153	52	17	84



令和3（2021）年5月22日訪問
那須塩原市立三島中学校



令和3（2021）年6月2日訪問
栃木市立大平西小学校

2 いちご一会ダンスコンテスト

いちご一会ダンス習得の動機付けにするとともに、さらなる普及を図るため、幼児・小学生の部、一般の部の2部門で実施。予選・決勝大会を経て、各部門において最優秀賞、優秀賞を選定

※予選大会は、令和3（2021）年8月31日までに参加募集を行い、動画審査を実施
決勝大会は、令和4（2022）年6月予定の「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 100 日前イベント」の中で、動画審査を通過した各部門5チームにおいて実施

3 いちご一会花リレー

小・中学校と連携した花いっぱい運動（※いちご一会花リレー）を展開。令和3（2021）年度は、本番に向け県内約170校の小・中学校が試行栽培を実施

※ 農業系高等学校、育苗業者が育てたポット苗を小・中学校にてプランターに定植・育苗し、各競技会場・最寄り駅に装飾

4 いちご一会花育て隊

地域住民等との協働による花いっぱい運動(いちご一会花育て隊)を実施。令和3(2021)年2月より募集開始し、参加者全員にマリーゴールドの種子袋を配布。また、いちご一会花育て隊参加者の中から、希望者にガーデンピックを配布

○参加件数・配布数

	参加件数	配布数
種子袋	473	6,274
ガーデンピック	405	744



令和3(2021)年5月17日活動
社会福祉法人パステルつるたみ



令和3(2021)年5月30日活動
那須塩原市一区町自治会

5 手作り応援のぼり旗の制作

県内高等学校及び特別支援学校に制作を依頼し、令和3年(2021)年12月完成予定。開・閉会式会場に設置し、来県する選手・監督等のおもてなしの一環とする。



いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会 2019 開・閉会式会場

参 考 資 料

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 役員名簿

【会長】１名 【副会長】８名 【常任委員】４６名 【監事】２名 計５７名

令和３年８月２日現在

(敬称略)

No.	役 職	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
1	会 長	県関係	栃木県知事	福田 富一
2	副会長	県議会関係	栃木県議会議長	阿部 寿一
3		県関係	栃木県副知事	北村 一郎
4		県関係	栃木県副知事	末永 洋之
5		県教委関係	栃木県教育委員会教育長	荒川 政利
6		市町村関係	栃木県市長会長	佐藤 栄一
7			栃木県町村会長	古口 達也
8		スポーツ関係	(公財)栃木県スポーツ協会理事長	石松 英昭
9			(特非)栃木県障害者スポーツ協会会長	麦倉 仁巳
10	常任委員	県議会関係	栃木県議会副議長	佐藤 良
11			栃木県議会県政経営委員会委員長	池田 忠
12			栃木県議会生活保健福祉委員会委員長	関谷 暢之
13			栃木県議会農林環境委員会委員長	琴寄 昌男
14			栃木県議会経済企業委員会委員長	白石 資隆
15			栃木県議会県土整備委員会委員長	高山 和典
16			栃木県議会文教警察委員会委員長	渡辺 幸子
17		県関係	栃木県総合政策部長	阿久澤 真理
18			栃木県経営管理部長	國井 隆弘
19			栃木県県民生活部長	千金楽 宏
20			栃木県環境森林部長	鈴木 英樹
21			栃木県保健福祉部長	仲山 信之
22			栃木県産業労働観光部長	辻 真夫
23			栃木県農政部長	青柳 俊明
24			栃木県県土整備部長	田城 均
25			栃木県企業局長	琴寄 行雄
26			栃木県警察本部長	野井 祐一
27		市町村関係	栃木県市議会議長会会長	久保田 武
28			栃木県町村議会議長会会長	鈴木 繁
29			栃木県市町村教育委員会連合会会長	森島 仁
30		スポーツ関係	(公財)栃木県スポーツ協会副会長	丸茂 博
31			栃木県レクリエーション協会会長	坂本 宏夫
32			栃木県スポーツ推進委員協議会会長	柳田 利夫
33			栃木県スポーツ推進審議会会長	選出手続中
34			栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	清水 武治
35			栃木県小学校教育研究会体育部会部会長	手塚 洋
36			栃木県中学校体育連盟会長	長谷川 智
37			栃木県高等学校体育連盟会長	丸茂 博
38			(公財)栃木県民公園福祉協会理事長	熊倉 一臣
39		学校関係	栃木県高等学校長会会長	赤羽 浩
40			栃木県中学校長会会長	樽井 久
41			栃木県小学校長会会長	丸山 周二
42			栃木県私立中学高等学校連合会会長	船田 元
43		産業・経済関係	(一社)栃木県経営者協会会長	青木 勲
44			(一社)栃木県商工会議所連合会会長	藤井 昌一
45			栃木県商工会連合会会長	福田 徳一
46			栃木県中小企業団体中央会会長	齋藤 高藏
47			(公社)栃木県経済同友会筆頭代表理事	松下 正直
48		通信・運輸関係	(一社)栃木県バス協会会長	吉田 元
49		宿泊・観光関係	(公社)栃木県観光物産協会会長	荻原 正寿
50		医療・福祉関係	(一社)栃木県医師会会長	稲野 秀孝
51			(福)栃木県社会福祉協議会会長	関根 房三
52		社会団体関係	栃木県地域婦人連絡協議会会長	柳田 京子
53			栃木県女性団体連絡協議会会長	梅澤 啓子
54			(一社)栃木県子ども会連合会会長	内藤 進
55			栃木県PTA連合会会長	金田 淳
56	監 事	県関係	栃木県会計管理者会会計局長	熊倉 精介
57		市町村関係	栃木県市長会事務局長・町村会常務理事	水沼 忠雄

参考資料（２）

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会 名簿

【会長】1名 【委員】224名 【監事】2名 【顧問】9名 【参与】62名 計298名

令和3年8月2日現在

【会長】1名

(敬称略)

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
1	県関係	栃木県知事	福田 富一

【委員】224名

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
1	県議会関係	栃木県議会議長	阿部 寿一
2		栃木県議会副議長	佐藤 良
3		栃木県議会県政経営委員会委員長	池田 忠
4		栃木県議会生活保健福祉委員会委員長	関谷 暢之
5		栃木県議会農林環境委員会委員長	琴寄 昌男
6		栃木県議会経済企業委員会委員長	白石 資隆
7		栃木県議会県土整備委員会委員長	高山 和典
8		栃木県議会文教警察委員会委員長	渡辺 幸子
9	県関係	栃木県副知事	北村 一郎
10		栃木県副知事	末永 洋之
11		栃木県総合政策部長	阿久澤 真理
12		栃木県経営管理部長	國井 隆弘
13		栃木県県民生活部長	千金楽 宏
14		栃木県環境森林部長	鈴木 英樹
15		栃木県保健福祉部長	仲山 信之
16		栃木県産業労働観光部長	辻 真夫
17		栃木県農政部長	青柳 俊明
18		栃木県県土整備部長	田城 均
19		栃木県企業局長	琴寄 行雄
20		栃木県警察本部長	野井 祐一
21		栃木県教育委員会教育長	荒川 政利
22		栃木県議会事務局長	大橋 哲也
23		栃木県人事委員会事務局長	清水 正則
24		栃木県監査委員事務局長	北條 俊明
25		栃木県労働委員会事務局長	渡邊 慶
26	市町村関係	栃木県市議会議長会会長	久保田 武
27		栃木県町村議会議長会会長	鈴木 繁
28		栃木県市町村教育委員会連合会会長	森島 仁
29		栃木県市長会長	佐藤 栄一
30		栃木県町村会長	古口 達也
31		宇都宮市長	佐藤 栄一
32		足利市長	早川 尚秀
33		栃木市長	大川 秀子
34		佐野市長	金子 裕
35		鹿沼市長	佐藤 信
36		日光市長	粉川 昭一
37		小山市長	浅野 正富
38		真岡市長	石坂 真一
39		大田原市長	津久井 富雄
40		矢板市長	齋藤 淳一郎
41		那須塩原市長	渡辺 美知太郎
42		さくら市長	花塚 隆志
43		那須烏山市長	川俣 純子
44		下野市長	広瀬 寿雄
45		上三川町長	星野 光利
46		益子町長	大塚 朋之
47		茂木町長	古口 達也
48		市貝町長	入野 正明
49		芳賀町長	見目 匡
50		壬生町長	小菅 一弥

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
51	市町村関係	野木町長	真瀬 宏子
52		塩谷町長	見形 和久
53		高根沢町長	加藤 公博
54		那須町長	平山 幸宏
55		那珂川町長	福島 泰夫
56	スポーツ関係	(公財)栃木県スポーツ協会理事長	石松 英昭
57		(公財)栃木県スポーツ協会副会長	丸茂 博
58		栃木県レクリエーション協会会長	坂本 宏夫
59		栃木県スポーツ推進委員協議会会長	柳田 利夫
60		栃木県スポーツ推進審議会会長	選出手続中
61		(特非)栃木県障害者スポーツ協会会長	麦倉 仁巳
62		栃木県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	清水 武治
63		栃木県スポーツ少年団本部長	橋本 健一
64		栃木県小学校教育研究会体育部会部会長	手塚 洋
65		栃木県中学校体育連盟会長	長谷川 智
66		栃木県高等学校体育連盟会長	丸茂 博
67		栃木県高等学校野球連盟会長	菅野 光広
68		栃木県女子体育連盟会長	村島 恵美子
69		(公財)栃木県民公園福祉協会理事長	熊倉 一臣
70		栃木県障がい者スポーツ指導者協議会会長	郡司 原之
71	競技団体	栃木県水泳連盟会長	螺良 昭人
72		(一社)栃木県バスケットボール協会会長	小曾戸 和彦
73		栃木県ソフトテニス連盟会長	加藤 勉
74		(一財)栃木陸上競技協会会長	横松 盛人
75		栃木県バレーボール協会会長	大豆生田 将
76		(一財)栃木県野球連盟会長	中山 勝二
77		栃木県卓球連盟会長	関 則男
78		栃木県体操協会会長	青木 克明
79		栃木県バドミントン協会会長	別井 晃
80		栃木県ソフトボール協会会長	佐藤 国生
81		栃木県ウエイトリフティング協会会長	砂岡 良治
82		栃木県山岳・スポーツクライミング連盟会長	石澤 好文
83		(公社)栃木県サッカー協会会長	星野 務
84		栃木県ボクシング連盟会長	船田 元
85		栃木県剣道連盟会長	白石 正範
86		栃木県柔道連盟会長	吉田 忠征
87		栃木県弓道連盟会長	森 茂行
88		栃木県相撲連盟会長	池田 忠
89		栃木県ライフルスポーツ射撃協会会長	谷津 義男
90		栃木県ラグビーフットボール協会会長	吉羽 茂
91		栃木県ハンドボール協会会長	五十嵐 清
92		栃木県レスリング協会会長	大島 大和
93		栃木県馬術連盟会長	金田 利彦
94		栃木県フェンシング協会会長	琴寄 昌男
95		栃木県空手道連盟会長	渡辺 眞幸
96		栃木県テニス協会会長	上野 通子
97		栃木県自転車競技連盟会長	佐藤 栄一
98		栃木県なぎなた連盟会長	青木 一男
99		栃木県銃剣道連盟会長	船田 元
100		栃木県セーリング連盟会長	船田 元
101		栃木県ホッケー協会会長	粉川 昭一
102		栃木県クレール射撃協会会長	内山 豊
103		栃木県アーチェリー協会会長	山田 美也子
104		栃木県ボート協会会長	山口 武夫
105		栃木県カヌー協会会長	平林 哲雄
106		栃木県ボウリング連盟会長	佐藤 勉
107		栃木県ゴルフ連盟理事長	松本 典文
108		(一社)栃木県トライアスロン協会会長	福嶋 稔
109		栃木県スキー連盟会長	齋藤 伸幸
110		栃木県スケート連盟会長	石幡 忠雄
111		栃木県アイスホッケー連盟会長	粉川 昭一

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
112	競技団体	栃木県綱引連盟会長	岡野 繁雄
113		栃木県ゲートボール協会会長	船田 元
114		栃木県パワーリフティング協会会長	吉羽 茂
115		栃木県グラウンド・ゴルフ協会会長	谷 博之
116		栃木県武術太極拳連盟会長	斉藤 孝明
117		オール栃木アームレスリング連盟会長	斉藤 孝明
118		栃木県インディアカ協会会長	横松 盛人
119		鹿沼市教育委員会教育長	中村 仁
120		那須烏山市教育委員会教育長	田代 和義
121		ましこチャレンジクラブ会長	原 実
122		栃木県エアロビック連盟会長	船田 元
123		栃木県オリエンテーリング協会会長	岡崎 良昭
124		栃木県カローリング協会会長	佐藤 栄一
125		栃木県キンボールスポーツ連盟会長	秋山 幸男
126		(一社)日本クリケット協会代表理事	アンソニー・アラム
127		那須塩原市スポーツ推進委員協議会会長	粒来 紀男
128		(公社)日本3B体操協会栃木県支部支部長	宮田 美知子
129		栃木県スポーツチャンバラ協会会長	原科 直之
130		栃木県スポーツウエルネス吹矢協会会長	松村 兵三
131		栃木県ソフトバレーボール連盟会長	石田 朗
132		栃木県ターゲット・バードゴルフ協会会長	小林 利恒
133		栃木県ダンススポーツ連盟会長	小野 武伸
134		栃木県ドッジボール協会会長	川田 元之
135		栃木県長ぐつアイスホッケー協会会長	長南 哲生
136		栃木県パークゴルフ協会連合会会長	鈴木 実
137		栃木県バウンドテニス協会会長	五月女 裕久彦
138		栃木県フォークダンス協会会長	安生 忠男
139		芳賀町体育協会会長	古谷 康典
140		栃木県フットサル連盟会長	螺良 昭人
141		栃木市フットベースボール協会会長	荒川 洋
142		栃木県フライングディスク協会・栃木県ディスクゴルフ協会会長	築瀬 進
143		栃木県ペタンク・ブール連盟会長	高橋 克法
144		大田原ジョイフルスポーツクラブ理事長	菊池 貴章
145		栃木県障害者フライングディスク協会会長	五味渕 一彦
146		栃木県ボッチャ協会会長	君島 紀子
147		(特非)全日本車椅子ダンス協会理事長	高根澤 利夫
148		栃木県卓球バレー協会会長	木下 卓己
149	学校関係	栃木県高等学校長会会長	赤羽 浩
150		栃木県中学校長会会長	樽井 久
151		栃木県小学校長会会長	丸山 周二
152		栃木県私立中学高等学校連合会会長	船田 元
153		栃木県特別支援学校長会会長	植木 佳己
154		栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会部会長	加藤 悦宏
155		宇都宮大学学長	池田 幸
156		白鷗大学学長	北山 修
157		作新学院大学学長	渡邊 弘
158		文星芸術大学学長	ちば てつや
159		(一社)栃木県専修学校各種学校連合会理事長	石川 尚子
160		(一社)栃木県幼稚園連合会理事長	石嶋 勇
161	産業・経済関係	(一社)栃木県経営者協会会長	青木 勲
162		(一社)栃木県商工会議所連合会会長	藤井 昌一
163		栃木県商工会連合会会長	福田 徳一
164		栃木県中小企業団体中央会会長	齋藤 高藏
165		栃木県商店街振興組合連合会理事長	長島 俊夫
166		(公社)栃木県経済同友会筆頭代表理事	松下 正直
167		(一社)栃木県銀行協会会長	清水 和幸
168		栃木県信用金庫協会会長	富田 隆
169		栃木県信用組合協会会長	塚田 義孝
170		栃木県農業協同組合中央会代表理事会長	菊地 秀俊
171		栃木県森林組合連合会代表理事会長	江連 比出市
172		(一社)栃木県建設業協会会長	谷黒 克守

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
173	通信・運輸関係	(一社) 栃木県バス協会会長	吉田 元
174		東日本旅客鉄道(株) 執行役員 大宮支社長	大西 精治
175		東日本旅客鉄道(株) 執行役員 高崎支社長	南沢 千春
176		東日本電信電話(株) 理事 栃木支店長	小林 博文
177		(一社) 栃木県タクシー協会会長	荒井 勝
178		東武鉄道(株) 鉄道事業本部営業統括部長兼営業部長	池田 直人
179		東日本高速道路(株) 関東支社宇都宮管理事務所長	川崎 裕二
180		東日本高速道路(株) 関東支社那須管理事務所長	飯島 知比古
181	宿泊・観光関係	(公社) 栃木県観光物産協会会長	萩原 正寿
182		栃木県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	君島 則夫
183		(公社) 栃木県食品衛生協会会長	齋藤 公則
184		(一社) 日本旅行業協会関東支部栃木県地区委員会委員長	北上 和博
185		(一社) 栃木県旅行業協会会長	國谷 一男
186		栃木県食生活改善推進員協議会会長	鈴木 美恵子
187		(公社) 栃木県栄養士会会長	佐藤 敏子
188		栃木県調理師連合会会長	増渕 賢一
189	医療・福祉関係	(一社) 栃木県医師会会長	稲野 秀孝
190		(一社) 栃木県歯科医師会会長	赤沼 岩男
191		(一社) 栃木県薬剤師会会長	渡邊 和裕
192		(公社) 栃木県看護協会会長	朝野 春美
193		(公社) 栃木県獣医師会会長	大住 敬
194		(福) 栃木県社会福祉協議会会長	関根 房三
195		(福) とちぎ健康福祉協会理事長	富田 哲夫
196		日本赤十字社栃木県支部長	福田 富一
197		(一財) 栃木県身体障害者福祉会連合会会長	麦倉 仁巳
198		(一社) 栃木県視覚障害者福祉協会会長	須藤 平八郎
199		(一社) 栃木県聴覚障害者協会理事長	稲川 和彦
200		(一社) 栃木県手をつなぐ育成会会長	小島 幸子
201		(一財) 栃木県精神衛生協会会長	青木 公平
202	警備・消防関係	(一財) 栃木県交通安全協会会長	阿部 武史
203		(公社) 栃木県防犯協会会長	鈴木 誠一
204		(公財) 栃木県消防協会会長	古山 大功
205	社会団体関係	栃木県地域婦人連絡協議会会長	柳田 京子
206		栃木県女性団体連絡協議会会長	梅澤 啓子
207		(一財) 栃木県老人クラブ連合会会長	前川 昭一
208		栃木県社会教育振興協議会会長	内藤 進
209		(公財) とちぎ未来づくり財団理事長	森澤 隆
210		栃木県文化協会会長	上野 憲示
211		(公社) とちぎ環境・みどり推進機構理事長	増渕 充
212		栃木県青少年団体連絡協議会会長	矢野 優
213		(一社) 栃木県子ども会連合会会長	内藤 進
214		(公財) 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長	白澤 嘉宏
215		(一社) ガールスカウト栃木県連盟連盟長	三森 紀子
216		栃木県高等学校PTA連合会会長	金田 淳
217		栃木県PTA連合会会長	金田 淳
218		(公財) 栃木県国際交流協会理事長	美野輪 茂
219		(公社) 日本青年会議所関東地区栃木ブロック協議会会長	大阿久 友伸
220	国関係	自衛隊栃木地方協力本部長	梶 恒一郎
221		関東森林管理局日光森林管理署長	飯塚 淳
222		関東運輸局栃木運輸支局長	諏訪 幸夫
223		宇都宮地方気象台長	山田 博文
224		関東地方整備局宇都宮国道事務所長	井上 啓

【監事】2名

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
1	県関係	栃木県会計管理者会会計局長	熊倉 精介
2	市町村関係	栃木県市長会事務局長・町村会常務理事	水沼 忠雄

【顧問】 9 名

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
1	国会議員	衆議院議員	船田 元
2		衆議院議員	福田 昭夫
3		衆議院議員	築 和生
4		衆議院議員	佐藤 勉
5		衆議院議員	茂木 敏充
6		衆議院議員	佐藤 明男
7		参議院議員	上野 通子
8		参議院議員	高橋 克法
9		参議院議員	渡辺 喜美

【参与】 62名

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
1	県議会議員	栃木県議会議員	青木 克明
2		栃木県議会議員	阿部 博美
3		栃木県議会議員	石坂 太
4		栃木県議会議員	板橋 一好
5		栃木県議会議員	一木 弘司
6		栃木県議会議員	岩崎 信
7		栃木県議会議員	岡部 光子
8		栃木県議会議員	加藤 正一
9		栃木県議会議員	加藤 雄次
10		栃木県議会議員	金子 武蔵
11		栃木県議会議員	木村 好文
12		栃木県議会議員	小池 篤史
13		栃木県議会議員	小菅 哲男
14		栃木県議会議員	小林 達也
15		栃木県議会議員	小林 幹夫
16		栃木県議会議員	斉藤 孝明
17		栃木県議会議員	塩田 ひとし
18		栃木県議会議員	五月女 裕久彦
19		栃木県議会議員	相馬 憲一
20		栃木県議会議員	相馬 政二
21		栃木県議会議員	螺良 昭人
22		栃木県議会議員	中島 宏
23		栃木県議会議員	中屋 大
24		栃木県議会議員	西川 鎮央
25		栃木県議会議員	西村 しんじ
26		栃木県議会議員	野澤 和一
27		栃木県議会議員	野村 せつ子
28		栃木県議会議員	早川 桂子
29		栃木県議会議員	日向野 義幸
30		栃木県議会議員	平池 紘士
31		栃木県議会議員	保母 欽一郎
32		栃木県議会議員	松井 正一
33		栃木県議会議員	三森 文徳
34		栃木県議会議員	山形 修治
35		栃木県議会議員	山口 恒夫
36		栃木県議会議員	山田 みやこ
37		栃木県議会議員	湯澤 英之
38		栃木県議会議員	横松 盛人
39		栃木県議会議員	吉羽 茂
40	県教委関係	栃木県教育委員会委員	工藤 敬子
41		栃木県教育委員会委員	金子 達也
42		栃木県教育委員会委員	陣内 雄次
43		栃木県教育委員会委員	板橋 信行
44		栃木県教育委員会委員	鈴木 純美子

No.	選出区分	機 関 ・ 団 体 名 及 び 役 職	氏 名
45	報道関係	(株)朝日新聞社 宇都宮総局長	向井 貴之
46		(株)読売新聞社 宇都宮支局長	金子 尚敬
47		(株)毎日新聞社 宇都宮支局長	棚部 秀行
48		(株)産経新聞社 宇都宮支局長	鈴木 正行
49		(株)日本経済新聞社 宇都宮支局長	伊藤 健史
50		東京新聞 宇都宮支局長	萩原 誠
51		(株)下野新聞社 代表取締役社長	岸本 卓也
52		(株)日刊工業新聞社 栃木支局長	小野里 裕一
53		(一社)共同通信社 宇都宮支局長	新井 秀信
54		(株)時事通信社 宇都宮支局長	都澤 貴征
55		日本放送協会 宇都宮放送局長	黒崎 めぐみ
56		(株)栃木放送 代表取締役社長	黒川 淳
57		日本テレビ放送網(株) 宇都宮支局	清水 彰
58		(株)フジテレビ 宇都宮支局長	佐藤 光秋
59		(株)TBSテレビ 宇都宮支局長	長島 周史
60		(株)テレビ朝日報道局 宇都宮支局長	小平 和英
61		(株)エフエム栃木 代表取締役社長	鈴木 峰雄
62		(株)とちぎテレビ 代表取締役社長	黒内 和男

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、第77回国民体育大会及び第22回全国障害者スポーツ大会（以下「両大会」という。）を栃木県において開催するために必要な事業を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 両大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること
- (2) 両大会における実施競技及び会場地市町村に関すること
- (3) 両大会開催に必要な施設・設備の整備に関すること
- (4) 両大会開催及び準備に係る経費に関すること
- (5) 関係行政機関及び関係機関との連絡調整に関すること
- (6) 前各号に掲げるもののほか、両大会の開催に必要な事業に関すること

第2章 組織

(構成)

第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 県及び市町村を代表する者
- (2) 県及び市町村の議会を代表する者
- (3) 関係競技団体、その他関係機関・団体を代表する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか大会開催の事業に関係ある者

3 会長及び委員は、無報酬とする。

(役員)

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 8名以内
- (3) 常任委員 70名以内
- (4) 監 事 3名以内

(役員の選任)

第6条 会長は、栃木県知事をもって充てる。

2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員の職務)

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、実行委員会の財務を監督する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成され解散するまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 実行委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

6 顧問及び参与は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 実行委員会に、次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 募金・企業協賛推進委員会

(4) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 両大会の開催に必要な方針に関すること

(2) 会則の制定及び改廃に関すること

(3) 事業計画及び事業報告に関すること

(4) 予算及び決算に関すること

(5) 常任委員会及び募金・企業協賛推進委員会に委任する事項に関すること

(6) その他重要な事項に関すること

5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は、書面で議決に加わることができる。

6 総会の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は、書面で議決に加わった者を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

（常任委員会）

第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

2 委員長は、会長をもって充てる。

3 副委員長は、副会長をもって充てる。

4 常任委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。

6 委員長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。

7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

(1) 総会から委任された事項に関すること

(2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任事項に関すること

(3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること

(4) その他委員長が必要と認める事項に関すること

8 前条第5項及び第6項の規定は常任委員会について準用する。

9 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

（募金・企業協賛推進委員会）

第13条 募金・企業協賛推進委員会は、会長が委嘱した委員をもって構成する。

2 募金・企業協賛推進委員会に委員長及び副委員長を置き、会長が委嘱する。

3 募金・企業協賛推進委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

5 募金・企業協賛推進委員会は、総会からの委任により、募金・企業協賛の推進に関する事項について審議し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

6 第11条第5項及び第6項の規定は募金・企業協賛推進委員会にて準用する。

7 第8条の規定は、募金・企業協賛推進委員の任期等について準用する。

（専門委員会）

第14条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査・審議し、

その結果を常任委員会に報告する。

3 前2項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。

4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第15条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は、総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。

2 前項の規定により専決処分したときは、会長はこれを次の総会等に報告し、承認を求めなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第16条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務

(経費)

第17条 実行委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第18条 実行委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第19条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 補則

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

第21条 実行委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

附則

- 1 この会則は、準備委員会設立の日（平成 26 年 5 月 19 日）から施行する。
- 2 準備委員会の平成 26 年度における会計年度は、第 18 条第 1 項の規定にかかわらず、前項に定める日から、平成 27 年 3 月 31 日までとする。

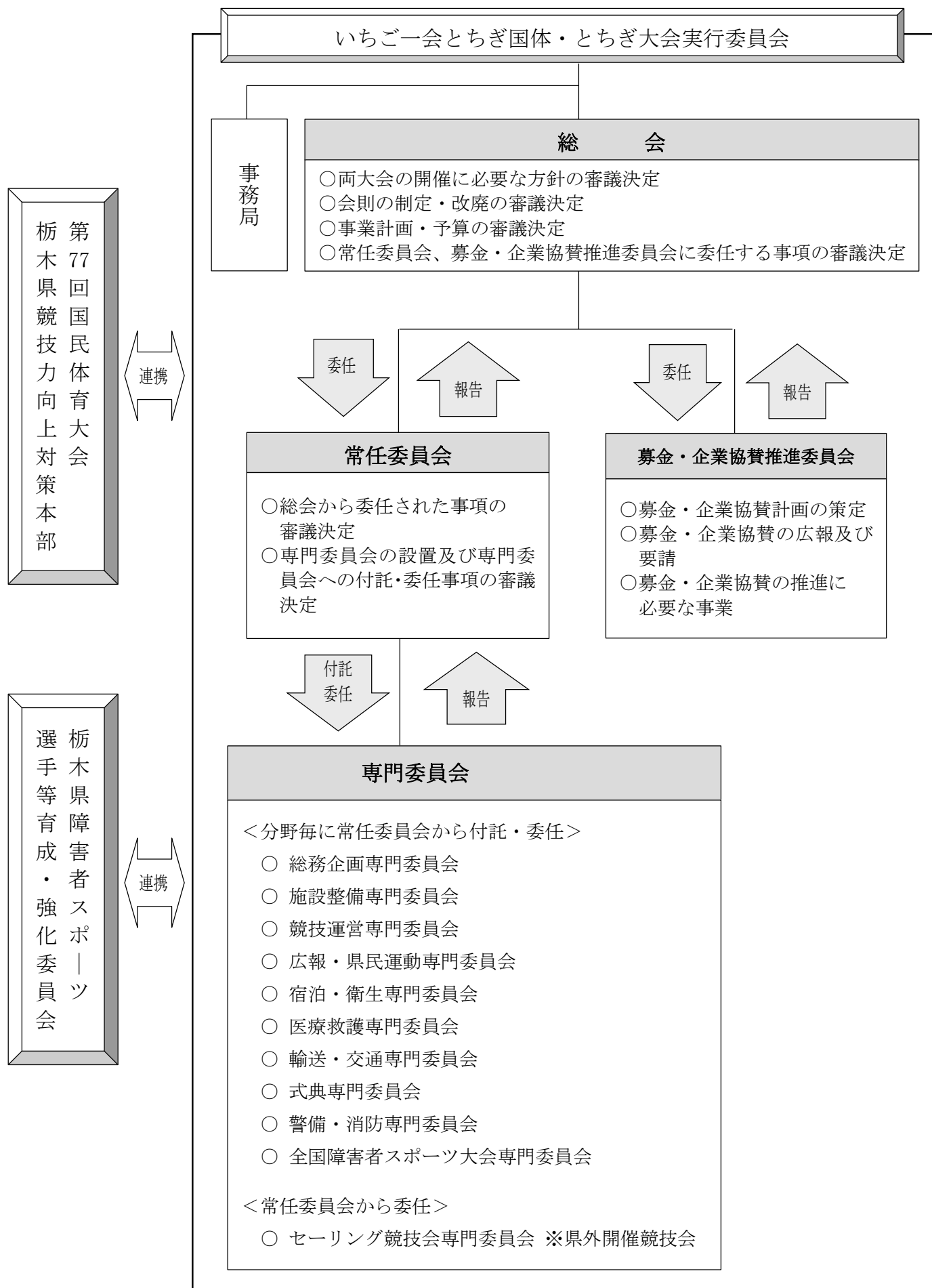
附則

この会則は、平成 28 年 7 月 13 日から施行する。

附則

- 1 この会則は、実行委員会設立の日（令和元年 8 月 5 日）から施行する。
- 2 この会則施行の際、現に第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会の役員、委員、顧問、参与、募金・企業協賛推進委員会委員又は専門委員である者は、それぞれ実行委員会の役員、委員、顧問、参与、募金・企業協賛推進委員会委員又は専門委員に委嘱されたものとみなす。
- 3 この会則施行の際、現に制定されている第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会の方針、計画及び関係規程等中「第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会」とあるのは「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会」と、「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」とあるのは「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」と、「公益財団法人日本体育協会」とあるのは「公益財団法人日本スポーツ協会」と読み替える。
- 4 この会則施行の際、現に制定されている第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会の方針、計画は、実行委員会の方針、計画とする。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会組織図



総会から常任委員会等への委任事項

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会会則第11条第4項第5号の規定に基づく常任委員会及び募金・企業協賛推進委員会への委任事項は、次のとおりとする。

(常任委員会への委任事項)

- 1 両大会開催に関する方針及び基本計画に関すること
- 2 会場地市町村及び競技施設の選定に関すること
- 3 県と会場地市町村の業務分担及び経費負担区分に関すること
- 4 競技施設及び用具等の整備計画に関すること
- 5 競技の企画及び運営に関すること
- 6 競技役員等の養成及び編成に関すること
- 7 広報及び県民運動に関すること
- 8 宿泊及び衛生に関すること
- 9 輸送及び交通に関すること
- 10 警備、消防防災及び医療救護に関すること
- 11 式典の企画及び運営に関すること
- 12 その他開催準備に関すること

(募金・企業協賛推進委員会への委任事項)

募金及び企業協賛の推進に関すること

「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」 推 進 宣 言

- 1 スポーツの素晴らしさとともに、環境というテーマを幅広く共有し、県民、企業、団体、行政が一体となった「オールとちぎ」によって、様々な場面で環境に配慮した両大会を実現すること
- 2 県内産業の技術力を生かし、「メイド・イン・とちぎ」による環境配慮の製品・サービスを積極的に活用した両大会を開催することで、本県の実力を県内外にアピールすること
- 3 両大会を通じて得られた環境に配慮した取組に関する成果を「次世代のとちぎ」へと引き継ぎ、幅広い取組につなげていくこと

令和2（2020）年8月6日

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会

会長

福田富一





いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

栃木県国体・障害者スポーツ大会局

TEL 028-623-3522 / FAX 028-623-3527

e-mail : somukikaku@pref.tochigi.lg.jp

HP アドレス : <https://www.tochigikokutai2022.jp>
